

もっと子ども主体の授業に！

ミライシード 活用事例BOOK

- ✓ 初めてご使用になる方 ▶ ベーシックな機能を体験・3週間プラン
- ✓ 使い方はご存じの方 ▶ 全国の先生の応用事例でレベルアップ
- ✓ もっと活用されたい方 ▶ 目的別に科目を問わず発展させる



小・中・全科目に
展開できる

32事例

※この冊子では、「オクリンク」と「ムーブノート」、「ドリルパーク」の実践事例を紹介しています。自治体の契約形態により、ご利用いただけるアプリは異なります。
 ※この冊子に掲載している学校名などの情報は、2023年3月時点で得られた情報をもとにしています。

スマホ・
タブレット・
パソコン

最新の活用事例やFAQもすべて掲載

大好評

「ミライシードファンサイト」



詳しくは中面で！

アクセスはこちら！



ミライシードのポータル画面下部のバナーからご覧いただけます。

2023年度春版 ミライシード活用事例BOOK

2023年5月1日発行
 発行所：(株)ベネッセコーポレーション
 小中学校事業部

冊子作成にあたり、ご協力いただいた先生方に心から御礼申し上げます。

©(株)ベネッセコーポレーション

ミライシードでもっと子どもたちが主体の授業を!

GIGAスクール構想がスタートして3年目。メリットも注意点も見えてきたICT活用ですが、全国の先生方の工夫やアイデアの蓄積が、深い学びへの突破口です。事例共有やセミナー、ヘルプデスクやQ&Aなどで、全国の子どもたちの学びを支えます。



事例の提供

冊子やWebサイトで、たくさんの先生の事例を具体的に共有。冊子は年2回発行予定です。

イベントの開催

Webセミナーを中心に、専門家や現場の先生を交えてICT活用の一歩先を考えます。

操作方法などのサポート

初心者研修や先生向けFAQなど、お困りの時は手が止まらないようにサポートします。

この冊子の使い方



初めてご使用の先生には・・・

無理なく段階的に主要機能を使っていただく、3週間のプランをご用意しました。

→ P.2~3



すでに活用されている先生には・・・

基礎的なことから発展系まで、ミライシードで得られる価値を段階的に生かせる事例をご覧ください。

→ P.4~

「カード」ダウンロード方法

テンプレート

この冊子でご紹介する実践例で使用されているカードや事前準備資料のダウンロードが可能です。ぜひご利用ください。

- 1 実践例ページ内でお知らせしている番号をチェックする。
- 2 ミライシード ファンサイトトップページの「事例BOOK掲載のカードの共有コード一覧」から、実践の番号に対応するコードを確認する。
- 3 オクリンク・ムーブノートの「カード共有」画面で、「カードを取り込む」ボタンを選択し、2でコピーしたコードをペーストしてダウンロードする。

ミライシード
ファンサイト

ミライシード ファンサイト

検索

主要アプリのご紹介



発表・意見交流に強いオクリンク



「小さな変化や新しい観
点に子どもたち自身で
気づいていきます。」

新宿区立
富久小学校
岩本先生

「自分ごととしてテーマに
取り組み楽しみながら
学び合いが生まれます。」

新宿区立
柏木小学校
高橋先生

自分の意見をまとめやすく、発表・交流がスムーズにできるので、誰の意見も取り残すことなく授業が進められます。

- 1 制作や技能を『客観的に振り返り』改善点を見つける → P.4~
- 2 活動や観察の『記録を蓄積・比較』で気づきを深める → P.10~
- 3 カードによる『伝わる発表』から議論が活発になる → P.16~
- 4 『一斉共有』と『比較』で多角的な意見交流 → P.22~



相互評価ができるムーブノート



「違う考えを持つ人も認め
合うことで、自分自身の
考えが磨かれています。」

相模原市立
旭小学校
田屋先生

「子ども同士にも楽しいコ
ミュニケーションが生ま
れます！」

掛川市立
第一小学校
加藤先生

クラス全体の考えを可視化して気軽にほめ合うことで、子どもたち同士での学び合いが活性化します。

- 1 いいね!やコメントで『評価し合い』認め合い、気づきが増える → P.28~
- 2 スタンプ、キーワード集計で『クラス全体の意見を把握』できる → P.34~



家庭学習もスムーズにドリルパーク



「自由進度学習を取り入れることで、個別最適な学びと丁寧な指導が実現できました。」

加賀市立分校小学校
高橋先生

宿題を簡単にやりとり採点でき、履歴管理もスムーズ。子どもたちの学習意欲にもつながる設計です。 → P.39~

タブレット管理のよくあるお悩みを解決!
タブレット運用のポイント → P.42~

よりよくご利用いただける!
サポートコンテンツのご紹介 → P.44~



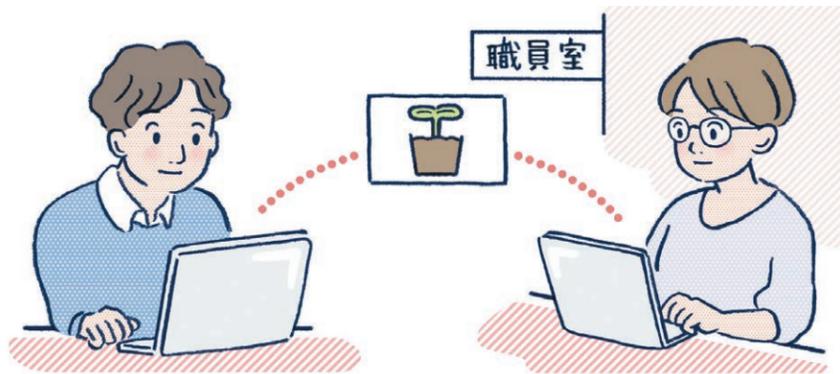
基本を押さえて実践したいことがすぐに ミライシードをスムーズ

できる! /

に活用できる3週間プラン

ここでは、初めて活用していただく先生にオススメの3ステップをご紹介します。

1 予行練習 先生同士で カードを送り合う



授業で子どもたちとやりとりをする前に、先生同士でカードの作成をし送り合うなど基本操作をすることをオススメします。子ども側の見え方を確認することもでき、子どもからの質問にも答えやすくなります。ご不明な点がある場合は、「ミライシード ファンサイト」の「よくあるご質問」や「操作説明動画」をご確認ください。

オクリンク



ボード上をタップすると出てくるリングメニューが表示されます。



中央の白い四角をタップし、白紙カードを作成。ツールバーの「ペイント」や「文字」を書いてみる。

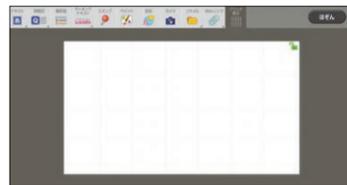


カードを画面中央下の「オクルボタン」にドラッグ&ドロップし、送信先を選択する。

ムーブノート



「私のノート」画面をタップし、リングメニュー中央の「新規カード」をタップすると白紙のカードが作成できます。



ツールバーから、子どもの画面にはない「選択枝」や「スタンプ」などを使用。画面中央の「オクルボタン」にドラッグ&ドロップし、送信先を選択する。

2 教科外 朝の会、 終わりの会で 「目標」と 「振り返り」を実践



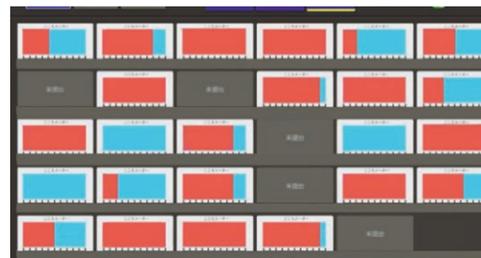
次に、教科の授業よりも気軽に活しましょう。朝の会で今日の目標をます。1週間分を蓄積することで、

発なやりとりがしやすい学級活動で使用をスタート自由にカードに書かせ、終わりの会で振り返りを子どもたち自身も変化を感じ取ることができます。

オクリンク

目標は言葉だけではなく、「やる気いっぱい」「少し不安」などの気持ちを色分けして、割合として表してもらうことで表明しやすくなります。

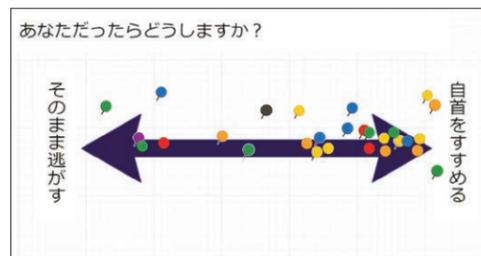
▼ オススメの事例は P.23 へ!



ムーブノート

目標として、「しっかり話を聞く」「発言する」「楽しむ」などのマトリックスをつくり、目標をスタンプで表明してもよい。

▼ オススメの事例は P.35 へ!



3 本格導入 意見交流時に 「一斉共有」する



いよいよ本格的に授業で、子どもにカードで考えや意見を書かせてみましょう。学活での子どもたちの様子も加味しながら、操作が容易で振り返りもしやすい「一斉共有」がオススメです。共通する意見や少数派の意見を取り上げて子どもから話を聞くことで、視点を広げる授業になります。

オクリンク

ある程度カードに子どもに書いてほしい項目やヒントを設定することで、手が止まらずに進めることができます。

▼ オススメの事例は P.17 へ!



ムーブノート

取り組みやすく比較しやすい写真から入ると、子どもたちは積極的にカードを作成し、活発な学び合いにつながります。

▼ オススメの事例は P.29 へ!



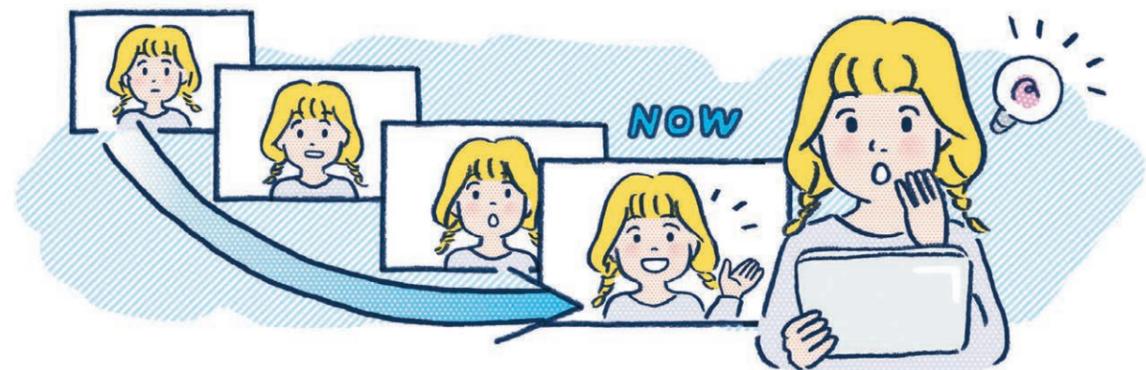


オクリンク

1

制作や技能を「客観的に振り返り」、改善点を見つける

一生懸命つくった物や身につけたことを、短時間で手軽に、かつわかりやすく振り返ることができるのがデジタルの強みです。自分から工夫したくなるきっかけになります。



カードに動画を貼り付ける



1 ボード上をタップすると出てくるリングメニューから、[カメラ・マイク]を選択する



2 「動画」を選択して赤いボタンで動画を撮影する。



3 撮影後、画面右下に出てくる[OKボタン]または、[ビデオを使用]をタップしカードに動画を挿入。

カードを確認する



1 [提出BOX]をタップする。



2 表示したい[提出BOX]を選択。



3 提出されたカードをタップすると拡大・動画が視聴可能。

まとめ・発展・注意点

[注意・時間について]



家庭学習の場合は、時間がかかってしまうことも。ある程度の時間の中で行うよう、保護者の方にも伝えておくといいでしよう。

[発展・子ども同士での比較・学び合いについて]



動画に関してはニガテ意識がある子どもも多く、いきなりクラス全員分を公開すると優劣の比較になる可能性も。まずは公開しないことを前提に自分自身の比較からスタートし、学び合いは学年やタイミング、クラス状況を見て開始することがオススメです。

他教科での展開 テーマ例

▶ 書写(国語)

書き直した工程をポイントとともに振り返る。

▶ 理科

グループごとに実験での気づきを比較し、最終的なまとめにする。

▶ 学活

発表の仕方を撮影し、目線・声の大きさ・話す速度など観点別に見てみる。

中学での展開 テーマ例

▶ 数学

解き方の別解を参照し、自分の解き方と違う点をまとめていく。

▶ 体育

試合を動画で見て、振り返りと改善点を見つける。

「振り返り」、改善点を見つける

テッパン 実践例

個別の頑張りを可視化 動画の音読練習

国語

小4

国語の音読練習で、自分で自分の音読を聞いて気づきを得るため、さらに教員が一人ひとりの頑張りをしっかり確認するために動画を取り入れました。

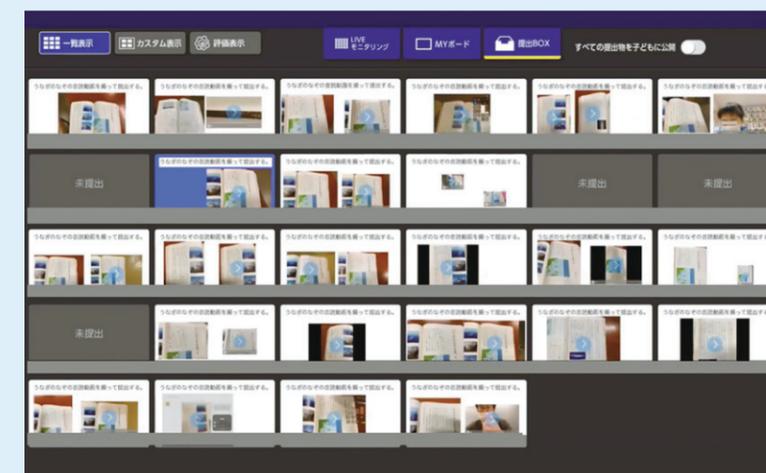
STEP
1

お手本として、「教員が音読している動画」と「教科書の読んだ箇所の写真」をカードに並べて子どもたちへ送る。



STEP
2

子どもは、見本に倣って試行錯誤しながら「自分の音読動画」と「教科書の該当部分」を撮影し、カードに貼りつけ、提出BOXへ提出。



STEP
3

教員は、空き時間などに提出された動画を確認する。未提出者もひと目でわかり、一人ひとりの頑張りを短時間でしっかり把握できる。

弘前大学教育学部
附属小学校
今伸仁先生



改善や比較が容易にできるので効率がアップし、保護者にも成果を共有しやすいため、子どもたちのモチベーションも上がっていきます。

詳しくは
Webで
チェック!



そのまま使える
テンプレート!
この事例の
カード番号は
1
※「ファンサイト」
でご確認ください。



制作や技能を『客観的に振り返り』、改善点を見つける

オクリンク

1

お手本から試行錯誤し動画撮影 自分で技能を調整する仕組みづくり

音楽のリコーダー練習で、教員に聞いたり見てもらったりしないと正しい指づかいができない子が多くいました。自ら学べるよう、お手本動画をつくとともに自分の演奏も撮影・記録することにしました。

BEFORE

自分の演奏を客観視しづらく
教員が来るまで練習が進められない

AFTER

自分で演奏を振り返りながら
各自のペースで学び達成感も味わえる

そのまま使える
テンプレート!

この事例の
カード番号は
※「ファンサイト」
でご確認ください。 **2**

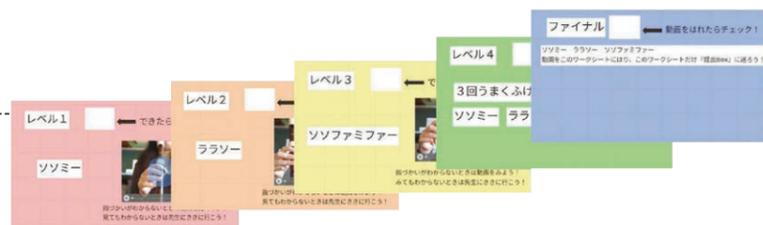
STEP 1

教員は手本となる指づかいを動画で撮り、カードに貼りつける。できたらチェックする欄をつけ、徐々に難度を上げて複数枚作成。最後に子どもの動画用のカードをつけて送付する。



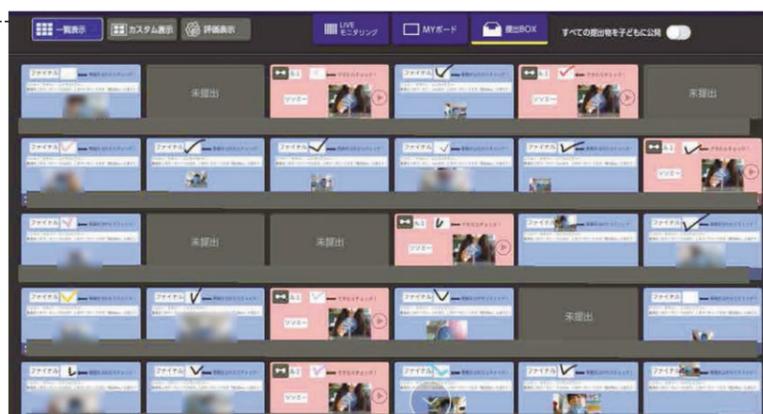
STEP 2

子どもはお手本動画を見ながら個別練習。できたらチェックを入れて、次のカードに挑戦する。最後に自分の演奏を動画で確認し、できたところまでのカードを提出する。



STEP 3

教員は、空き時間に提出された動画を確認する。誰がどこまでできているか、到達度がひと目でわかる。



相模原市立
新宿小学校
和田愛莉先生

見本～最終確認まで動画で行うことで、細かい部分まで調整力がつきました。評価もしやすくなり次の授業づくりや支援への手立てへとつながられます。

詳しくは
Webで
チェック!



制作や技能を『客観的に振り返り』、改善点を見つける

オクリンク

1

写真比較で意欲や自信につながる 書写の振り返り

書道のお手本をまねするだけでなく、自分自身の字の変化をしっかりと振り返ることで「書くことが楽しい」と思える子どもが増えました。

BEFORE

お手本の模倣のみでは
やる気が出ず書道を楽しんでいない

AFTER

気づきや達成感を得ることで
書きたい意欲が出る

そのまま使える
テンプレート!

この事例の
カード番号は
※「ファンサイト」
でご確認ください。 **3**

STEP 1

子どもは、教員から書く文字を口頭で聞き、まずは普段書いているように思ったまま文字に書く。できあがったら最初の作品として撮影する。

STEP 2

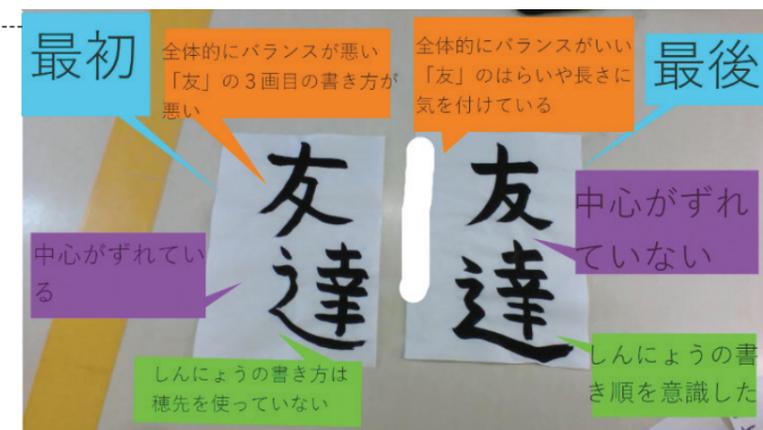
配付されたお手本と書く時のポイントの指導を参考に、練習してから仕上げを作成。カードに最初の文字の写真と並べて貼りつける。

STEP 3

2つの写真を比較して、気づいた点を言語化したり異なる点を丸で囲んだりしながら、練習してよくなった点や難しかった点を記入する。

STEP 4

提出BOXに提出後、友だちと自分の作品を比較。気づいたことを自分のカードに追記しながら、次回以降に気をつけたいポイントを整理する。いつでも過去の作品を見かえすことができるよう、一人ひとりがカードを連ねて保存する。



練馬区立
仲町小学校
小川由華先生

自分自身の変化を記録することで、「もっと書いてみたい」という意欲を引き出すことができました。友だちとの比較では、見つけたポイントを吸収し合いクラス全体で学び合うことができています。

詳しくは
Webで
チェック!



他教科での
展開
テーマ例

▶ 英語

発音の習得時に、自分の声をお手本と比べながら聞いてみる。

他教科での
展開
テーマ例

▶ 体育

跳び箱や縄跳びのフォームを撮影し、お手本や改善した後と比較する。

▶ 体育

マット運動を難易度別にカードを分けて、ペアで実技を撮影する。



制作や技能を「客観的に振り返り」、改善点を見つける

体育 中1

オクリンク

1

録画で興味関心が芽生える ダンスのパフォーマンステスト

運動会での伝統であり体育の評価対象ともなるダンスのパフォーマンスを録画することで、効率的な改善や適切な評価につながりました。

BEFORE

ダンスにニガテ意識がある子どもも多く工夫点を自分で客観視しづらい

AFTER

自分の動きの詳細まで確認することができ
ダンス自体への興味関心を持てる

そのまま使える
テンプレート!

この事例の
カード番号は
※「ファンサイト」
でご確認ください。 4

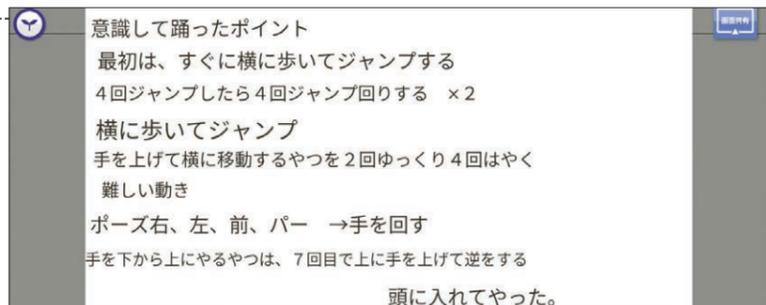
STEP 1

子どもは自分の全身が映る位置に端末を置き、動画撮影を開始。全員の準備が整ったら教員が音楽を流し、音に合わせて一斉に踊り自分のパフォーマンスを録画する。



STEP 2

子どもは自分の動画を見ながら、①工夫した箇所 ②工夫したこと ③なぜその部分を工夫したのかを振り返り、特にアピールしたいポイントとともにカードに記入する。



STEP 3

子どもは動画と振り返りカードをつなげ、提出BOXに提出。教員は授業後に提出BOXを見ながら一人ひとりの評価をつける。



能美市立辰口中学校
仁地裕介先生
堀川聡子先生
吉田倫人先生

動画を見ながら詳細に振り返りを行うことで、ダンス学習に対する関心や意欲が高まりました。また、見てもらいたいポイントを本人に提示させることで、頑張りをしっかり評価できるようになりました。

詳しくはWebでチェック!



他教科での展開
テーマ例

▶ 家庭

調理実習や掃除をいかに楽しく工夫してやるか、グループで組んで動画で発表させる。



制作や技能を「客観的に振り返り」、改善点を見つける

英語 中3

オクリンク

1

録画で複数観点を自己・相互評価 英語のスピーチ練習

4人1組のグループでお互いにスピーチを聞いてもらい、自己評価と相互評価をしました。観点の送付や、動画の保存やシェアもスムーズにできます。

BEFORE

一度のスピーチでは複数の観点で評価することが難しい

AFTER

自分自身でもグループ内でも教員も
観点別に繰り返し評価ができる

そのまま使える
テンプレート!

この事例の
カード番号は
※「ファンサイト」
でご確認ください。 5

STEP 1

教員は、教科書に記載されているチェック項目を貼りつけたカードを用意し、子どもに送付する。



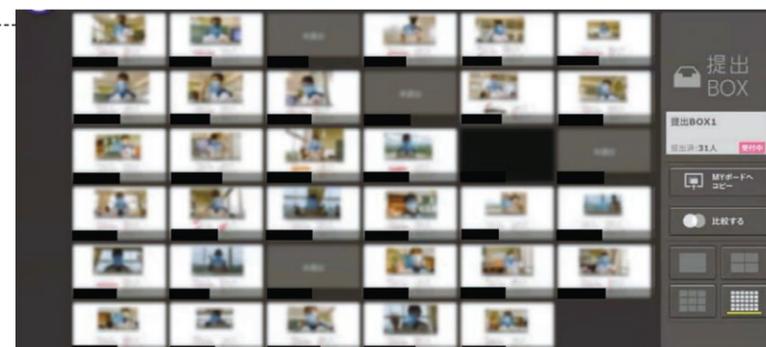
STEP 2

子どもは4人1組のグループに分かれ、カメラ機能で撮影しながら順番にスピーチをする。スピーチしたら、友だちからの評価や自分の録画を見返して、チェック項目カードで自己評価をつける。



STEP 3

グループ全員の発表が終わったら、自己評価とスピーチ動画を貼ったカードを提出BOXに提出する。



新城市立
新城中学校
今泉太希先生

発表を客観視するとともに、グループの人と評価を気軽に送り合うので、振り返りの質が格段に上がりました。教員も録画を繰り返し見ることができるので、表現力までしっかり確認することができます。

詳しくはWebでチェック!



他教科での展開
テーマ例

▶ 社会

歴史の転換点を自分の視点で捉えさせ発表。観点も言語化させる。

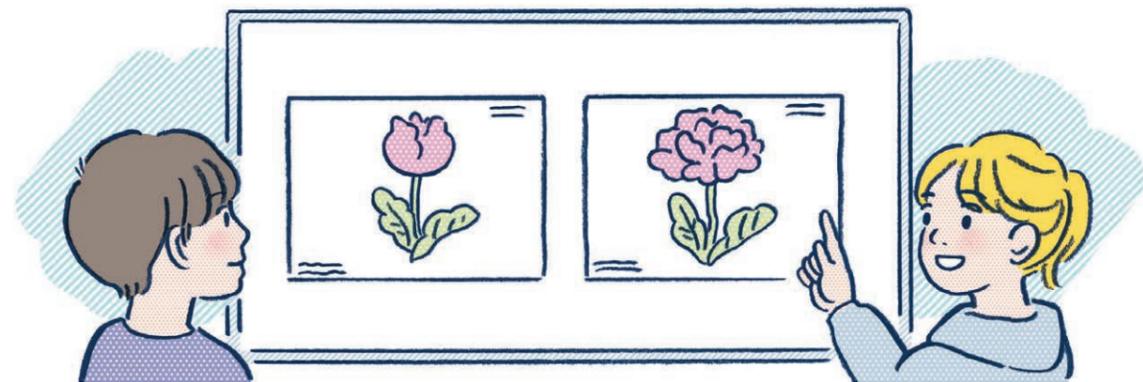


オクリンク

2

活動や観察の『記録を蓄積』

学んだことを記録し蓄積することで、事象や自分の考え方の変化に気づきやすくなります。子ども自身で写真や動画を撮り記録することで、積極的な気づきにつながります。



子どもがカードに写真を挿入する



[提出BOX]の編集



まとめ・発展・注意点



[まとめ・発展]

季節ごとに、同じ観察項目で学び、発表で友だちの気づきを知ることで洞察力を深めていけます。通年の授業なので、最後にクラス全体で発表するのも向いています。



[注意点]

屋外での撮影になるので、著作物やほかの人を映してはならないなど、写真の注意点も一緒に伝えることがオススメです。

比較』で気づきを深める

テッパン実践例

意欲的に変化をつかめる 季節の定点観察

理科 小4

理科の季節ごとの植物の変化を、年間を通して定点的に写真で記録しました。

STEP 1

子どもが年間を通して観察したい植物を選択し、一定期間ごとに写真を撮ってカードにまとめていく。



STEP 2

提出BOXは、季節ごとに分けて複数作成し、1年間の記録を同一の時間割の中で扱うことができるようにする。



STEP 3

季節ごとに、教員は観察項目(色・形・大きさ・季節による成長の仕方の違いなど)が書かれたカードを送付。子どもは、季節ごとの写真を比較し気づきをまとめ、観察対象に合う写真をつけて提出BOXに提出。



川根本町立中央小学校 八木光隆先生



教科書の写真のように変化がわかりやすい変化でないからこそ、わずかな違いを注意深く観察する積極的な様子が見られました。また、記録がわかりやすく蓄積されていくことで、大きな流れもつかむことができます。

詳しくはWebでチェック!



他教科での展開テーマ例

▶ 国語

学んだ漢字を記録し、自分だけのノートをつくる。

▶ 算数

基礎への戻りどころにすぐアクセスできることで、つまづいたら戻れる場をつくる。

▶ 社会

自分の町の産業を調べ、ほかの地域と比較する。

▶ 図工

作品を記録し、どの工程まで到達しているかをしっかりと把握できる。

中学での展開テーマ例

▶ 英語

リスニングで聞き取れなかった文章のみを蓄積し聞き直す。

▶ 学活

意見交換の場面で、以前の議題を整理できる。



活動や観察の『記録を蓄積・比較』で気づきを深める

社会

小6

オクリンク

2

気づきにくい視点を多数持てる地域の公園探検

社会の授業で地域の公園探検へ行った際、普段気づきにくい地域の特徴や歴史に子ども目線で気づいてもらうために、テーマを設定し撮影をすることで共有しやすくなりました。

BEFORE

実際に足を運ぶだけでは記憶頼みになり気づきがぼんやりしやすい

AFTER

写真に撮ることで小さな興味や気づきもしっかり記録として残すことができる

そのまま使えるテンプレート!

この事例のカード番号は ※「ファンサイト」で確認ください。 **7**

STEP 1

教員は、**テーマのみを書いたカード**を子どもに送付する。地域の公園にタブレットを持参し、**気になったところを撮影する**。
※例えば、「びっくりしたもの」「楽しかったもの」をテーマにする。



STEP 2

学校に戻り、**子どもはカードに写真を貼りつけ、コメントとセットで共有し合う**。



STEP 3

クラス全体で**カードを見せ合い**、自分では見つけられなかったものなどを知る。もっと調べてみたいと思ったもの、**興味がわいたもの**を発表する。



共有することで容易に比較ができ、自分の撮影したものを再度見返し、カードを何枚もつなげて投稿する様子が見られました。また、学校に帰ってからも、メモとは違い写真で鮮明に思い出すことができます。準備もほとんどいらないので授業に集中することができます。

弘前大教育学部 附属小学校 今 伸仁先生

他教科での展開 テーマ例

▶ 書写(国語)

書いたものと工夫した点をカードにまとめ、変化を見る。

▶ 算数

教室内で、九九で数えられそうなものの写真を撮る。それをかけ算の式に表すことで、生活の中の算数を感じる。



活動や観察の『記録を蓄積・比較』で気づきを深める

国語

中3

オクリンク

2

採点基準や間違えパターンがわかる記述の交換採点

記述力が伸び悩んでいる子どもが多く、提出して教員が採点するだけでは受け身になってしまうことに問題点を感じていました。なにがよくてなにがダメなのかを分析する力をつけるため、子どもたち自身に採点させることにしました。

BEFORE

推奨の方法や採点の観点がわからず記述力の向上につながらない

AFTER

全体共有や採点を体験することで**採点基準が自然に身につく**

そのまま使えるテンプレート!

この事例のカード番号は ※「ファンサイト」で確認ください。 **8**

STEP 1

子どもは記述問題を解き、**解答をカードに貼りつける**。2人ペアになってカードを送り合い、**アドバイス**などを書き込み送り返す。受け取った本人は**赤入れされたカード**を提出BOXに送る。



STEP 2

クラス全体で各自のカードを見せ合うとともに、**採点基準や正答例**を教員が共有。それらを踏まえいいと思ったところなどを共有し合う。

STEP 3

教員がカードを見てさらに**赤入れ**する。子どもは提出BOX上で教員の赤入れも見るができる。



この方法では、複数人に見てもらうことでたくさんの気づきが得られ、友だちの記述内容からまねしたい箇所などが発見できます。不在の生徒も参加できます。さらに到達度の共有もしやすく、クラス間・学年間の比較も容易です。

茨城町立 明光中学校 福住里絵先生

他教科での展開 テーマ例

▶ 読書

読書感想文の気づいたポイントを共有していく。

▶ 生活・学活

靴箱の定点記録を取る。正しい状態や乱れに気づく。



活動や観察の『記録を蓄積・比較』で気づきを深める

理科

小5

2 繰り返すと比較で考察が深まる 異なる条件の実験の記録

理科の「流れる水の働き」を調べる実験で、水の量などの条件を変え動画を撮影することで、繰り返し見たり比較したりしやすいと考えました。

BEFORE

一度の実験では比較ができないなど
気づけない部分がある

AFTER

録画を何度も見たり比較しながら
実験後も新しい発見ができる

そのまま使える
テンプレート!!

この事例の
カード番号は
※「ファンサイト」
でご確認ください。 **9**

STEP 1

子どもは、前時の授業でグループごとに考えた条件をもとに、動画を撮影しながら異なる2つの実験を行う。2つの動画をカードに並べて、各条件を書き示す。

水の量が増えるとどんな働きが大きくなるのか
実験動画

コップ1つ分の水↑ コップ2つ分の水↑

8 / 10

STEP 2

2つの実験動画を比較しながら、各自気づいたことやわかったことを考察し、カードに記入する。

実験②の結果
水の量が増えると流れる速さが速くなる。
あと川の横にある土が削れる。

STEP 3

グループごとに、作成した実験の予想と動画、考察のカードをつなげて提出BOXに提出する。

東京学芸大学附属
大泉小学校
鈴木博之先生



撮影した動画を何度も見返しながら結果をまとめることで、実際に実験を行っただけでは気づけなかった新しい発見をすることもできました。動画とテキストを1つのカードにまとめられるので、記録・管理がしやすいです。

※このページでご紹介している内容は、前任校でのご実践となります。

詳しくは
Webで
チェック!



活動や観察の『記録を蓄積・比較』で気づきを深める

技術

中1

2 全工程の可視化と詳細フィードバック で主体的な製作活動

技術での作品製作の授業で、詳細説明からやり取り、振り返りなど全般でオクリンクを活用しました。単元ごとに1つのボードを利用することで、俯瞰して取り組むことができます。

BEFORE

長期間の製作で、全体を見通した
各工程の位置づけが見えづらい

AFTER

全体の見通しを持ちながら
自分から調べる学びにつながる

そのまま使える
テンプレート!!

この事例の
カード番号は
※「ファンサイト」
でご確認ください。 **10**

STEP 1

教員は製作の工程ごとに、「作業手順」「道具の説明」「作業の詳細」がわかる動画や外部サイトへのリンクなどを貼ったカードをつくり連結させておく。この際、振り返りのカードもつないでおく。

STEP 2

教員は、工程ごとに提出BOXを分け名称をつけておく。子どもは、各授業の終わりに途中作品を撮影した画像とともに振り返りを記入し、振り返り用カードを工程ごとに提出。さらに、「切断」などの動作を確認したい工程では、作業の様子を動画で撮影し合い提出する。

STEP 3

子どもは、教員の指摘を確認し次工程に生かすとともに、友だちのカードを見て留意点やよいと感じた点を作品づくりに取り入れる。

自分の作業の振り返り（自己評価）
真っ直ぐに直線を引けた。
ちゃんとした長さでかけた

切断をしている動画（ポイントをわかりやすく）

このあたりはアッパアして

河口湖南中学校
嶋津英斗先生



全工程を把握しながら、工程ごとの振り返りを写真や動画で具体的に行うことができ、子どもたちも気づきを得ながら次のアクションに移ることができます。動画やリンクで指導も短時間で行うことができます。

詳しくは
Webで
チェック!



他教科での
展開
テーマ例

▶ 音楽

リコーダー練習など、記録し指の動きや音の出方を比較しまとめていく。

▶ 国語

ペアで役割を決め、「尊敬語」「謙譲語」「丁寧語」を使って会話。グループで評価し合い、再度同じテーマでの会話を撮影・振り返りをする。

他教科での
展開
テーマ例

▶ 体育

運動会の工程をまとめ共有しつつ、主体的に動けるようにする。

▶ 社会

各分野でまとめたものを撮影しストック。



オクリンク

3

カードによる『伝わる発表』から

伝えるスキルは繰り返すことで身につきます。作成しやすく全体像が見えやすいカードを使うことで、話し手も聞き手も内容を深掘りすることができます。



カードの色の変更・コピーとはりつけ

① カードの色は、該当のカードをタップしてメニューバーで変更可能。

② コピーする場合は、該当のカードを長押しすると[コピー]ボタンが表示されるのでタップしてコピー。

③ ボード上を長押しすると[はりつけ]ボタンが表示されるので、タップして貼り付け(画像や音声、デジタル教材が貼られたカードも可能)。

ストーリー

① カードの並び順は、ドラッグ&ドロップで変更することができる。

まとめ・発展・注意点



[取り組みやすくするには・・・]

子どもたちにとって身近なことで文章をつくってみようと思案すると、共有した時に大いに盛り上がります。

他教科での展開 テーマ例

▶ 算数

解くプロセスをグループ分けし、どうしてそう解こうと思ったか議論する。

▶ 理科

実験の結果を順序立てて説明する。

▶ 学活

発表の内容の伝わりやすさをカードの順を変えて考える。

議論が活発になる

テッパン 実践例

ほかの人の文も参考に試行錯誤 文章の組み立て

国語 小1

国語の音読練習で、自分で自分の音読を聞いて気づきを得るため、さらに教員が一人ひとりの頑張りをしっかり確認するために動画を取り入れました。

STEP 1

教員は、「は」「を」「へ」などの助詞を書いたカードを作成し、つなげたら子どもたちに送付する。



STEP 2

子どもは自由に白紙のカードへ主語・述語・目的語などを書く。送られてきた助詞のカードとつなげて文章を組み立てたら、提出BOXに提出。



STEP 3

教員が提出BOXの「すべての提出物を子どもに公開」をオンにする。子どもたちはほかの子の取り組みを自由に見て学び合う。



久喜市立
砂原小学校
早川光先生



手書きでは書いたり消したりが大変ですが、オクリンクではカードの入れ替えで簡単に修正ができるので試行錯誤が可能です。何度も文章を練り友だちと比較することで、伝わりやすい構造が身につきます。

詳しくは
Webで
チェック!



そのまま使える
テンプレート!
この事例の
カード番号は
11
※「ファンサイト」で
ご確認ください。

他教科での展開 テーマ例

▶ 英語

英語と日本語の語順や文章構成の違いをカードで説明する。

▶ 社会

出来事背景と結果をまとめ、一つの時代を見る。



カードによる『伝わる発表』から議論が活発になる

学活

小5

オクリンク

3

自己理解も相互理解も深まる 5カード自己紹介

学級開きやキャリア教育の場面で、楽しく自己理解や相互理解を進めるためカードを選ぶだけの自己紹介ワークを考えました。

BEFORE

AFTER

自分の価値観や内面を見つめ
クラスメイトに話す機会がない

自覚していない自分らしさに気づき
クラスの仲も深まる

そのまま使える
テンプレート!

この事例の
カード番号は
※「ファンサイト」で
ご確認ください。

12

STEP 1

大切にしたいことや好きなことなど、テーマに合わせた**キーワード**が書かれたカードを**30枚程度用意**する。子どもへの宿題にすると実態にも合い手間も省ける。

キーワードの例(小5年の場合):
家族、夢、笑う、友だち、スポーツ、感謝、元気、本、チーム、尊敬



STEP 2

教員は、最初に5枚のカードを各自に配付する。その後、新しいカードを1枚ずつ配っていき、子どもは、**ボードに5枚のカードが残る**ように、興味や関わりが薄いと感じる**キーワードが書かれたカードを1枚捨てる**。



STEP 3

「教員が1枚配付し、子どもは1枚捨てる」を繰り返すことで、子ども自身が大切にしている**キーワードが残る**。最終的に残った**5枚のカード**を使って、自己紹介を行う。

東京都立学校
教員
安里陸郎先生



キーワードが送られてくることで、自分自身にも友だちにも意外性を見つけ出すことができます。また、リアルタイムでカードが送られてくるのが面白く、子どもたちが夢中になりやすい仕組みになっています。

詳しくは
Webで
チェック!



カードによる『伝わる発表』から議論が活発になる

英語

小5

オクリンク

3

カードの並べ替えで楽しく知識定着 英語の道案内

英語での道案内の定番フレーズのカードを組み合わせ、目的地までの道案内をするアクティビティを実施。学校から身近な場所へのわかりやすい道案内をミッションとしました。

BEFORE

AFTER

フレーズの暗記では
使える英語に応用しづらい

カードの並べ替えと身近なテーマで
フレーズが楽しく身につく

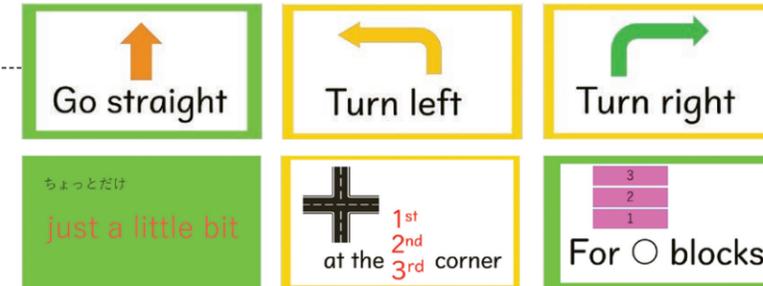
そのまま使える
テンプレート!

この事例の
カード番号は
※「ファンサイト」で
ご確認ください。

13

STEP 1

教員は、英語で道案内をする際、よく使われる**フレーズ**を書いたカードを用意し配付する。



STEP 2

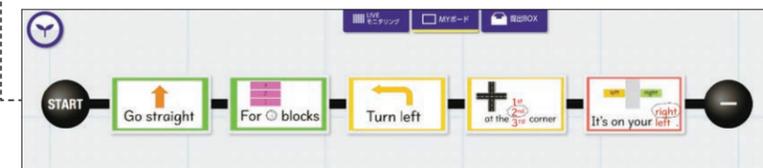
子どもは、案内したい場所を地図アプリで探し、**学校からその場所までのルート**を調べる。



STEP 3

調べた地図上のルートに合わせ、道案内の**フレーズカード**を順番につなげる。

フレーズの例: 2つ目の角を右に曲がる場合は、「Turn right」と「at the 2nd corner」のカードを組み合わせるなど。



STEP 4

文が完成したら2人1組になり英語で道案内をする。**案内をする側はオクリンクを見ながら英語で伝え、案内される側は地図アプリを見ながらルートをたどり、目的地がどこかを当てる**。

練馬区立
仲町小学校
永野愛里子先生



カードを組み合わせる操作が楽しく、自然にフレーズを覚えることができました。プログラミング的思考も発揮でき、英語がニガテな子も活躍できます。

詳しくは
Webで
チェック!



他教科での
展開
テーマ例

▶ 算数

補助線の入れ方と考え方をマッピングする。

▶ 英語

並べ替え(語句整序)をカードで実行。

他教科での
展開
テーマ例

▶ 家庭

家事をカテゴリ別に分け、効率的な順番を説明する。

▶ 社会

歴史の出来事の順番を並べ替える。



カードによる『伝わる発表』から議論が活発になる

3 ゲーム感覚で環境問題への第一歩に ごみの分別

家庭で学ぶごみの分別方法は、ただ覚えるだけでは子どもは飽きてしまいます。カードの送り合いや連結といった機能を使いやり取りすることで、ゲームのように盛り上がる活動を考えました。

BEFORE

覚えることが目的となり
学んだことが身につかない

AFTER

ゲームのように楽しく
環境問題の意識づけのきっかけに

そのまま使える
テンプレート!

この事例の
カード番号は
※「ファンサイト」で
ご確認ください。 **14**

STEP 1

教員は、色分けしたカードに「ごみの種類の名前(粗大ごみ・可燃ごみ・リサイクルできるもの・プラスチックごみ・その他)」を書き配付する。さらに、様々なごみの名前を書いたカードを複数枚作成し、何回か分けながら子どもたちに送る。



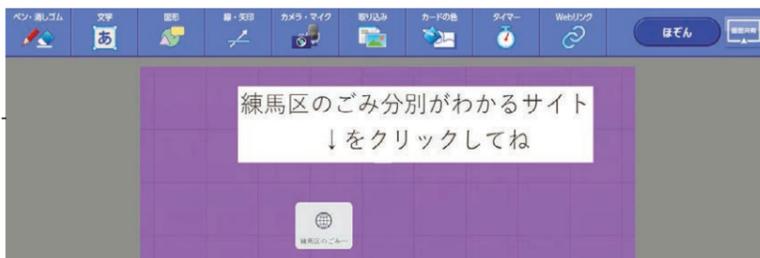
STEP 2

子どもは、送られてきたカードがどの種類のごみになるかを考え、ふさわしいと思う色のついたカードの後ろにつなげる。



STEP 3

教員は、すべてのごみのカードを送り終えたら、地域のごみの分別が説明されているWebサイトのURLを貼り付けたカードも送付。子どもはそのWebサイトを見ながら、自分が分別したカードの答え合わせを行う。



練馬区立
大泉第四小学校
横山弘美先生



オクリンクならカードをつなげる・離すが簡単にでき、友だちとの相談も伝えやすいので、シェアしながらゲームのように楽しんでいました。環境問題を意識するうえでの大切な一歩となりました。

詳しくは
Webで
チェック!



カードによる『伝わる発表』から議論が活発になる

3 徹底したアウトプットで認め合い 学習課題の設定と発表

社会の授業で、子どもたちに疑問や考えを学習に十分生かせていないことに課題を感じていました。子どもたち自身が学習課題を設定して、思考力を伸ばすために、カードでの意見交流を実践してみました。

BEFORE

意見を活発に言う子が
固定化され発展しづらい

AFTER

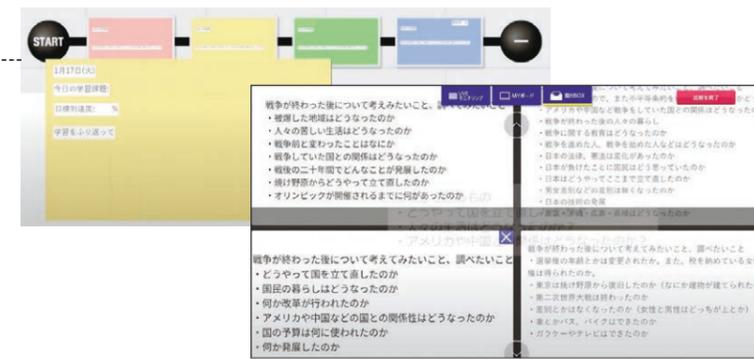
全員発言でき、意欲的に
学んだことをアウトプットできる

そのまま使える
テンプレート!

この事例の
カード番号は
※「ファンサイト」で
ご確認ください。 **15**

STEP 1

学習の始めに子どもはカードに課題を書き、提出BOXに提出する。教員は各自の課題を確認したり、課題を学級で共有したりする。



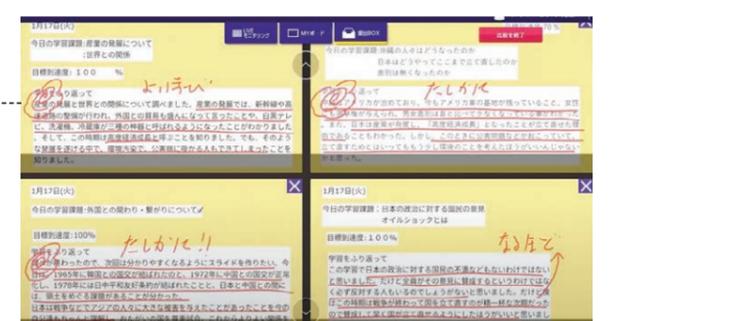
STEP 2

各自課題について調べ、教科書の画像を添付したカードでスライドをつくる。その後、3人組のグループをつくり、個々に自分の考えを発表し合う。自分で気づかなかった点を知る。



STEP 3

クラス全体で振り返りを行い、各自振り返りカードを提出する。教員は振り返りカードにコメントを残したり丸をつけ、よい振り返りは次の時間で共有する。



練馬区立
仲町小学校
青木秀夫先生



発表することで意欲と責任感をもって学習に取り組み、お互いを認める姿勢が見受けられました。また、文字だけでなく、写真、グラフ、図などを効果的に使うことで伝わりやすい発表ができ、知識の定着にまでつながっています。

詳しくは
Webで
チェック!



他教科での
展開
テーマ例

▶ 算数

各種四角形・三角形の性質をそれぞれの形に紐づける。

▶ 理科

双子葉類・単子葉類の特徴(子葉・根・葉脈・茎の維管束)と代表的な植物を紐づけて、解説をつける。

他教科での
展開
テーマ例

▶ 英語

接続詞など、どうしてそうなるかわかりづらい単元のイメージをペイントで描かせて共有する。

▶ 国語

漢字の成り立ち・構造(象形・指事・会意・形成)によって、漢字を分類し、解説をつける。

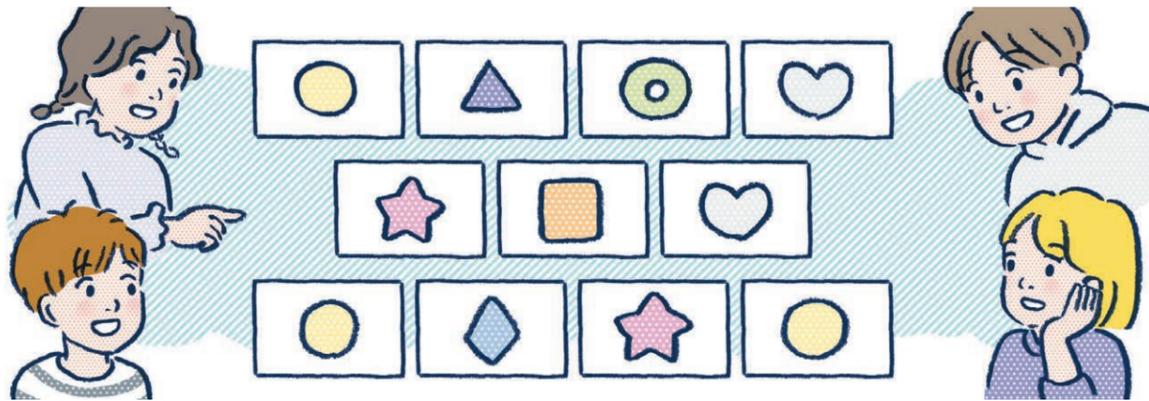


Okurinku

4

『一斉共有』と『比較』で多角的な意見交流

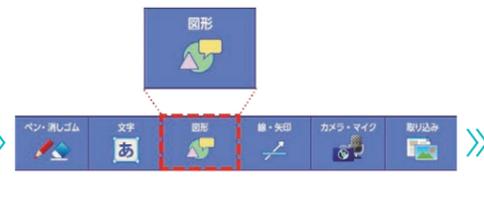
ほかの人の考えを知り、比べて新しい気づきを得る。答えがない問いを解く、これからの学習に必須のやりとりが子どもたちの間から生まれます。



準備・導入



1 ボード上をタップし、真ん中の白紙を選択する。



2 メニューから「図形」を選び四角を2つ作成。「図形の色」で着色する。



3 子どもに送付するカードを[Okurinkuボタン]にドラッグ&ドロップし、「みんな」を選択。

使用する機能



1 提出BOXのメニューにある「すべての提出物を子どもに公開」をONにする。



2 グループリングする際は、多数の意見が正しいと思わせないように並びや見せる時間に注意。

まとめ・発展・注意点

[注意点]

赤が多いから赤だね!

多数派=正しいといったような決めつけではなく、相手の意見を聞くように促す。

[声かけの例]

赤が多いような気がするけど、青の気持ちが入っていない子もほとんどいないね

子どもが気づきにくい傾向に目を向けさせ、違う角度からの議論を促します。

[発展させるには?]

1週間後も同じ気持ちなのかな? 比べてみたい?

時間や場所を変えたらどうなるか、想像させる視点を持たせます。

多角的な意見交流

テッパン実践例

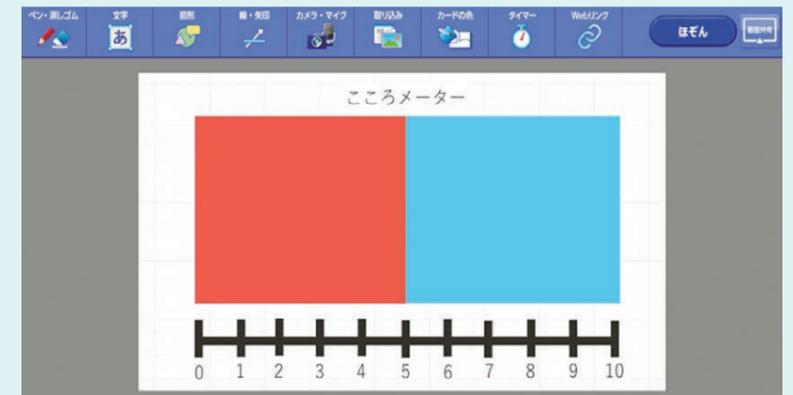
「話したい」「聞きたい」が生まれる こころメーターの意見表明

道徳 小3

道徳の時間、心の揺れや葛藤を表現し、交流させたい場面で使いました。

STEP 1

先生はテーマを提示し、2色で作成したこころメーターのカードを送付。



STEP 2

子どもは色の比率を変え自分の気持ちを示し、提出BOXに提出する。



STEP 3

教員の画面をモニターに映し、クラス全体で議論。
※全員提出した後で提出BOXの「すべての提出物を子どもに公開」をONにしてもよい。
「どうしてこの割合にしているのか」という理由や、ほかの子への疑問などを引き出していく。



STEP 4

全体交流後に提出BOXを2つ目に切り替えて、もう一度メーターを提出させ考えの変容を見る。

札幌市立 澄川南小学校 池亀美和子先生

一人ひとりが思いや考えを持ち「話したい」、友だちの意見を「聞きたい」という気持ちが対話の起爆剤になりました。

詳しくは Web でチェック!



そのまま使えるテンプレート!
この事例のカード番号は
16
※「ファンサイト」でご確認ください。

他教科での展開 テーマ例

▶ 算数

問題を作成し全体共有。どの問題がよい問題か議論する。

▶ 音楽

グループ練習で話し合ったことをひと言で共有する。

▶ 家庭

調理プロセスの比較をし、観点をまとめる。

中学での展開 テーマ例

▶ 国語

筆者の考えをグループリングして話し合う。

▶ 理科

学んだことを無人島での生活に当てはめるとどうなるか発表する。



4 瞬時の把握でつまずきから学び合う ひっ算の考え方

つまずきやすいひっ算の単元では、授業時間内に理解度の確認は困難。そこで、オクリンクを使い、瞬時に全員の理解度を把握してそこから学び合う方法を考えました。

BEFORE

人によって理解度が違い
あいまいな部分が放置されやすい

AFTER

一人ひとりのつまずきポイントがわかり
子ども目線で問題解決ができる

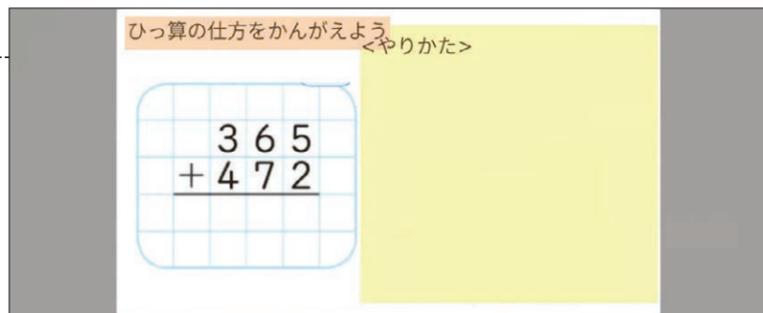
そのまま使える
テンプレート!

この事例の
カード番号は
※「ファンサイト」で
ご確認ください。

17

STEP 1

教員は左にひっ算の問題、右に
そのやり方を説明するカードを作
成し配付する。



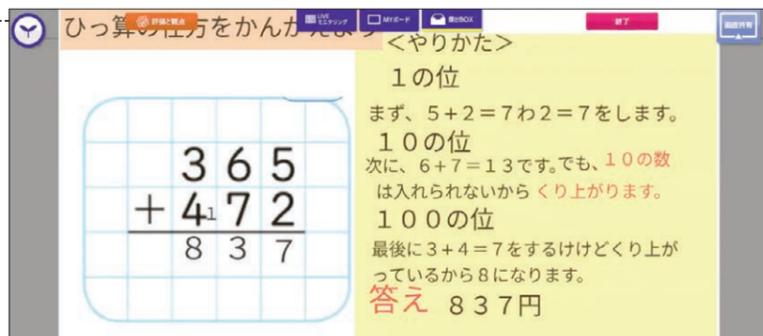
STEP 2

子どもは答えとやり方を考え、カ
ードに記入し提出BOXに提出する。



STEP 3

教員は提出されたカードを一斉
共有しながら、理解があいまいだ
と思われる部分を取り上げて解
説する。



久喜市立
砂原小学校
松本百萌香先生



提出BOXですぐに考え方を細かく把握することができました。また、一斉共有しながら子どもたち自身の言葉を使って解説することで、より興味を持たせながら解説を聞かせることができました。

詳しくは
Webで
チェック!



4 意見交換と比較で 進路選択の基準を持てる

進路学習の際、思考ツールであるダイヤモンドランキングを使って、学校を選ぶ基準を可視化させることにしました。

BEFORE

明確な基準を持たず
なんとなく高校選びをしている

AFTER

共有や比較によって
自分の価値基準をブラッシュアップできる

そのまま使える
テンプレート!

この事例の
カード番号は
※「ファンサイト」で
ご確認ください。

18

STEP 1

教員は、カードに図形で四角形をいくつ
かつくり配付する。



STEP 2

子どもは、「5年後になりたい自分」を思
い描き、紙のプリントに記入する。そのう
えで、カードの四角い枠に進路選択にお
いて大切と考えていることを入れて、重要
度が高いものを上から並べダイヤモンド
型にしていく。完成したら、提出BOXに
提出し、じぶんBOXにも入れる。



STEP 3

提出された友だちの意見を見た後、グル
ープになって各自の意見について理由を
含めて発表する。グループを変えてな
べく多くの人の意見に触れるようにする。

STEP 4

再度自分のダイヤモンドランキングをつ
つて提出し、アップデートされたみんなの
意見を見る。

STEP 5

最後に、1回目と2回目につくったダイ
ヤモンドランキングを並べたカードをつ
くり、2つを比較しながら授業の感想と自己
評価をプリントに記入。教員は、「【5年後
になりたい自分】になるためには、今何を
頑張りたいか?」をインタビューし、子
どもたちが発言してまとめる。



さいたま市立
日進中学校
荒木風哉先生
富田匡先生



自分の価値基準を自己決定し、他者の意見に触れることで視野を広げ、グループで発表し合うという流れによって、クリティカルシンキングができ主体的な進路選択につながりました。

詳しくは
Webで
チェック!



他教科での
展開
テーマ例

英語

ニガテになりやすい時制の単元などで、つまずきパターンを可視化しカテゴリーに分ける。

理科

学ぶことに対して、科学的な考え方を段階的に説明する(比較→関係付け→条件制御→推論・考察)。

他教科での
展開
テーマ例

学活

クラス全体で進める卒業製作のコンセプト決めの際、優先したいことを話し合いの中でまとめていく。

社会

自分にとって大切だと思う「自由」について考えて相互理解を深める。



4

学びを止めずに表現力もアップ 図形の考えの共有

数学の図形の考え方をほかの人に伝える際、黒板で書いたり説明したりすると時間がかかっていました。そこでカードの色や線で補足しながら考え方と式を共有することにしました。

BEFORE

黒板だと説明に時間がかかり発表できる人数に限られる

AFTER

色や線で工夫し一度に全体共有でき比較や再考が進む

そのまま使えるテンプレート!!

この事例のカード番号は ※「ファンサイト」でご確認ください。 19

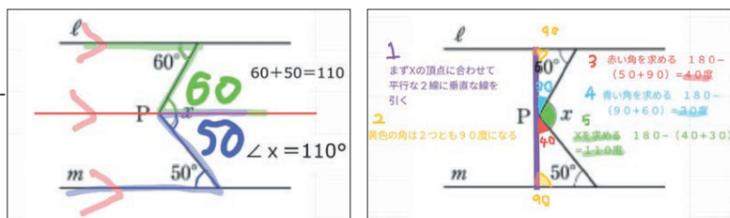
STEP 1

教員は問題をスキャンしカードに貼りつけ、子どもに送付する。さらに、提出BOXをを問題ごとに分け、「すべての提出物を子どもに公開」のスイッチをONしておく。



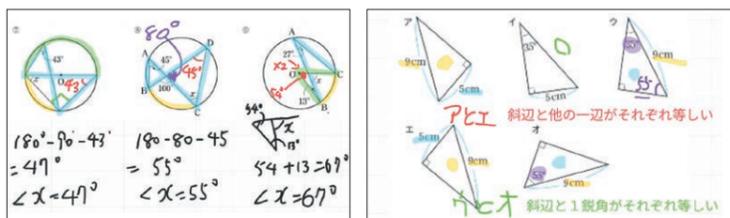
STEP 2

子どもは考え方と式を書いて、カードに記入し提出BOXに提出する。線や色、囲みをつくるなど、自分なりの方法で伝わるように工夫する。また、何度でも書いたり消したりできるため、伝えたいことを整理して、カードにまとめられる。



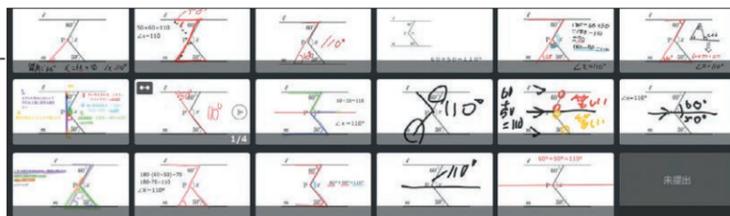
STEP 3

苦手な人は提出されたカードを参考にしたり、提出した人は自分とは違う新たな考え方を発見したりするなど、生徒同士で学び合うきっかけになる。



STEP 4

最後に、教員は提出されたカードを画面共有する。子ども同士で異なる考えを共有し合ったり、考え方を別の人に予想させたりする。



桐生市立川内中学校 清野善行先生



提出BOXの公開で、ほかの人と自分の考えを比較し再考するなど、解釈が違って学びを止めずに授業ができます。また、あえて説明せずに考え方を予想させるなど、発展的な学びにもつながりました。

他教科での展開 テーマ例

理科

観察結果の写真を比較し、違いの理由を考える。

社会

地域の中で自分で調べた地理的な特徴を、地図と共に写真や絵で紹介。

学活

別のクラスとも意見を比較しながらディスカッションをする。



4

子ども主体でまとめまで協働 資料の読み取り

社会の資料から情報を読み取る際、教員が一方的に伝えるのではなく、班で協働的に課題解決に向けて取り組むことをめざして授業づくりを行いました。

BEFORE

一方的に説明する授業では興味や主体性が引き出されにくい

AFTER

自分たちで情報収集と言語化をすることで多角的な視点を獲得し主体的になることができる

そのまま使えるテンプレート!!

この事例のカード番号は ※「ファンサイト」でご確認ください。 20

STEP 1

教員は、授業の流れを記載したカードと、参考資料の画像を貼りつけたカードを作成し、子どもたちに配付しておく。

STEP 2

子どもたちは、班で「Before」「変化理由」「After」などの担当になり、カード作成していく。教員からの指示カードに記載されたポイントに沿って、各自で画像資料カードと向き合い情報の収集、整理、まとめを行う。

STEP 3

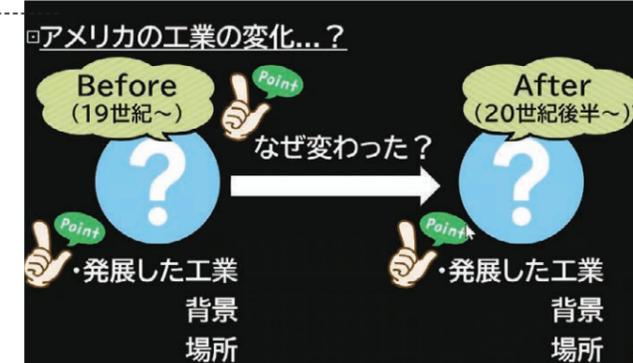
各自で作成したカードを、「オクルボタン」の「みんな」から、班のメンバーを指定して送り、班内でカードを共有。そのうえで資料から読み取り、まとめたことを伝え合う。

STEP 4

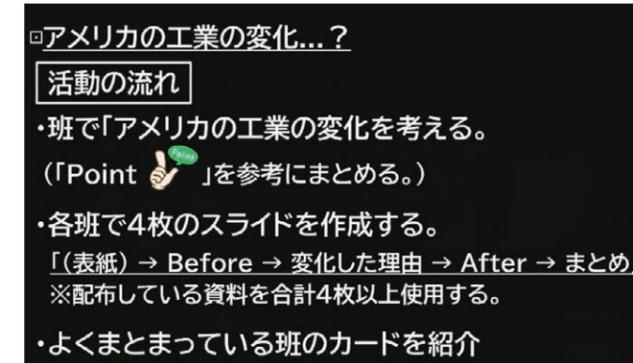
班の代表者が「表紙」「Before」「変化理由」「After」「まとめ」の5枚のカードをつなげて提出BOXへ送付。教員は、「すべての提出物を子どもに公開」をONにし、ほかの班のカードを見られるようにする。よくまとまっている班を先生が指名し、全体発表。

STEP 5

最後に、ほかの班のカードも参考にしながら、各自でアメリカの工業の変遷をノートにまとめる。



先生の指示(授業の流れ解説)カード



Before (19世紀頃) 場所: 五大湖周辺の都市 発展した工業: ピッツバーグは鉄鋼業の、デトロイトは自動車工業の中心地になりました 背景: アメリカで考え出された流れ作業による自動車の大量生産方式は、他の工業製品にも広がりました

枚方市立第四中学校 佐納達平先生



オクルinkは、大量の画像資料を一斉配信できるので、資料を扱う授業に便利です。さらに意見の一斉共有で、受けとめ方やアウトプットの違いを比較でき、多角的な視点の獲得にもつながると思います。

詳しくは Webでチェック!



他教科での展開 テーマ例

英語

使える英語の表現を映画などから引用してシーンと共にまとめる。

国語

説明文の単元において、説明されていることを流れに沿って要約し、筆者の伝えたかったことは何かをまとめる。

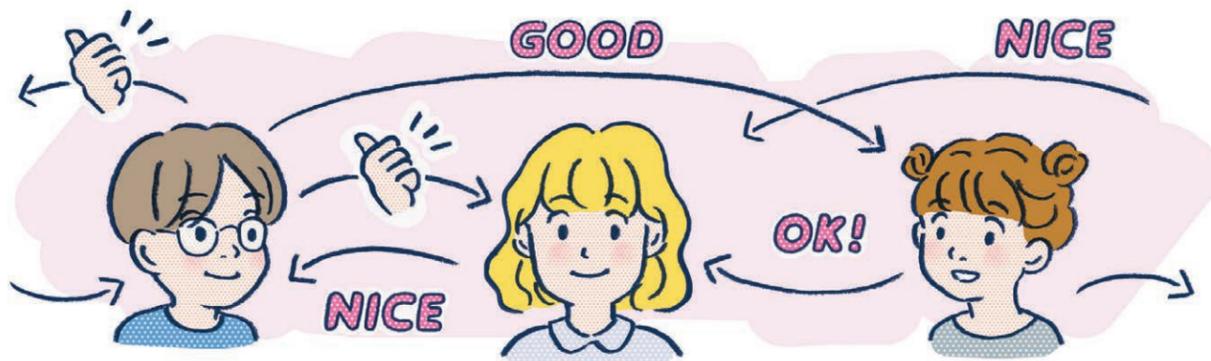


ムーブノート

1

いいね!やコメントで『評価し合い』、

学びの中での、仲間からの反応は何よりもうれしいものではないでしょうか？
さまざまな考えを受け入れて発展させる土台ができます。

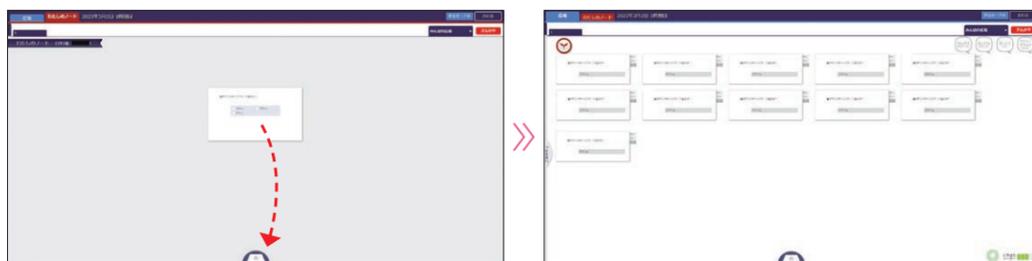


注意点

⚠️ **子どもが一人で撮影するにはある程度の技術が必要です。**

- ・太陽の向きに注意する
- ・危ない場所では撮影しない
- ・許可なくほかの人を写さない
- ・協力して撮影する など、子どもと一緒に注意点を確認してから始めることをおすすめします。

子どもが広場に送信する



① 画面左上の [私のノート] 上にある送りたいカードを画面下中央のボタンへドラッグする。

② [みんなの広場] でみんなの意見を見る。

拍手やコメントをつける



① 広場にあるカードのうち、[コメント] や [はくしゅ] をつけたいものをタップする。

- 1 [★] をタップすると、伝え合いウィンドウが開きコメントを表示。
- 2 [はくしゅ] をタップして、選択したカードに拍手をつける。
- 3 [コメントを書く] をタップして、コメントを記入。

他教科での展開テーマ例

▶ 国語

作成した文章について、どこがよいかコメントする。

▶ 社会

調べてまとめたことについて、わかりやすさ・内容などの観点別に拍手する。

認め合い、気づきが増える

テッパン実践例

ニガテでも感想が伝えられる 作品の相互鑑賞

図工

小4

前時までに作成した「ニステンドグラス」が光を透過させると変化する様子を、背景や周囲の要素とともに撮影します。
ムーブノートでお互いの写真作品を共有し、鑑賞、意見交換を行いました。

STEP 1

撮影の注意点を確認後、子どもは2人1組で端末と作品を持って校内を回り、様々な場所で作品を撮影する。



STEP 2

教室に戻り、端末で自分が撮影した写真を確認し、最も美しいと感じた写真を1つ選び、広場に送信する。



STEP 3

お互いの作品を見合いながら、各作品に対してコメントを入力したり、拍手をつけたりする。この時、「まず同じ班の人の作品にコメントをつけてください」と指示をすることで、全員がコメントや拍手をもらうことができる。



新宿区立 富久小学校 岩本紅葉先生



相互評価によって、自分の作品の工夫やこだわり、友だちの工夫への気づきなどがわかる振り返りになり、これまでの指導では見えなかった気づきも評価できるようになりました。

詳しくはWebでチェック!



そのまま使えるテンプレート! この事例のカード番号は

21

※「ファンサイト」でご確認ください。

中学での展開テーマ例

▶ 学活

進路について調べたことで、拍手が多かったものを取り上げる。

▶ 学活

修学旅行の感想をシェアして、クラスを越えて反応し合う。



≫ いいね!やコメントで『評価し合い』、認め合い、気づきが増える

学活

小6

ムーブノート

1

学年全体での気づきが深まる 修学旅行の振り返り

学年全体行事である修学旅行の振り返りを紙での感想提出や話し合いを進めると、意見交流の範囲が狭くなってしまいがちでした。ほかのクラスとも意見交流するために、ムーブノートを使うことにしました。

BEFORE

学年全体の意見交流がしづらく
今後の学びに発展しづらい

AFTER

多人数の共有もしやすく今後につながる
具体的な振り返りができる

そのまま使える
テンプレート!

この事例の
カード番号は
※「ファンサイト」で
ご確認ください。

22

STEP 1

教員が『1番印象に残っている見
学先とその理由』『班の人のよかつ
たところ・頑張っていたところ』な
ど、**テーマを書いたカード**を作成し
て「授業を開始」を押す。

1番印象に残っている見学先とその理由

STEP 2

教員はクラスごとに広場を設定し
(「1組は広場1」など)、**各広場を
テーマごとにシート分けする。**

広場 私のノート 2022年12月5日-1時間目

STEP 3

記入できた子どもから、**カードを該
当のシートに提出する。**

班の人の良かったところ・頑張っていたところ

ついつい時間を忘れてしまっている時に、副班長だけでなく班員各々が時間を気にして行動することができていて、「あと〇〇分だからこのアトラクションは乗れるよ」「これが終わったらゆっくり集合場所に行こう」と、計画をその時に考えながら行動することができていた。また、ここに行きたい、行きたくないをしっかりと班員に伝えて、みんなで考え直して行動することができていて、誰かが大きい我慢をしないようにできていた。

STEP 4

提出し終わった子どもは、ほかの
人のカードを見て、**拍手をつけた
り感想を入れたりする。**

班の人の良かったところ・頑張っていたところ

副班長の〇〇さんが集合場所をしっかりと周りの目立つものと一緒に覚えていたし、誰かが「今何時?」と聞くとしっかりと「〇時だよ」とか、「もうそろそろいったほうが良くない?」とか時間を意識して行動をしていた。そのおかげで集合場所に迷わず、たどり着けた。

STEP 5

ほかのクラスのカードも参考にし
ながら、今後の学校生活に生か
すポイントをクラス全体で話し合う。

掛川市立
第一小学校
加藤大補先生



テーマごとにシート分けすることにより、多数の意見を簡単にわかりやすく共有し、振り返りができます。「責任」や「行動力」などのキーワードが子どもたち自身からあがり、今後の学校生活にも生きる学びになりました。

詳しくは
Webで
チェック!



≫ いいね!やコメントで『評価し合い』、認め合い、気づきが増える

算数

小6

ムーブノート

1

やりがいや親しみが持てる個別最適な学びへ 子ども同士の作問と解き合い

算数の「拡大図と縮図」の単元のまとめとして、子ども同士で作問、解き合いを行いました。子どもそれぞれが解けそうな問題を解ける数だけ取り組める個別最適な環境づくりをめざしました。

BEFORE

ただ問題を解くだけでは多くの
問題や考え方に当たりづらい

AFTER

作問～答え合わせまで子どもたちで完結し
仲間のアイデアから学び合いができる

そのまま使える
テンプレート!

この事例の
カード番号は
※「ファンサイト」で
ご確認ください。

23

STEP 1

教員は、出題者名、縮尺、地図、
問題記入欄を入れた**問題カード**
を作成して「授業を開始」を押し、
実際に作問するプロセスを説明。

STEP 2

子ども各自で**カード上に問題を
作成**。地図に建物を加えるなど自
由な発想で取り組む。
※難しいと感じる子どもにはお手
本の数字を変えるだけでもよしと
する。



STEP 3

作成した**問題カードを広場に提
出し**、そのカードの**コメントに答え
を入れる。**

STEP 4

広場に戻り、ほかの友だちがつく
った問題をノートに解く。その後教
員から声かけし、解いた問題のカー
ドのコメントを開き、丸つけをする。



STEP 5

次の時間では、**地図がないパー
ジョンのカードを子どもに送付**。
子ども自らアレンジし作問。前の
時間と同様に、コメントに答えを
入れ、子どもたち同士で解き合う。

相模原市立
旭小学校
田屋裕貴先生



友だちがつくった問題のため取りかかりやすく、子どもたち同士のやりとりで授業が完結します。また、自ら問題をつくることで理解が深まり、子どもの自由な発想・アイデアを引き出し、楽しく学び合いが進みました。

詳しくは
Webで
チェック!



他教科での
展開
テーマ例

▶ 体育

改善点をコメントで送り、みんながニガテ意識を持ちやすい部分を分析する。

他教科での
展開
テーマ例

▶ 社会

時代ごとの因果関係の問題を出し合う。



英語 中1 >> いいね!やコメントで『評価し合い』、認め合い、気づきが増える

英語 中1

ムーブノート

1 英文法の運用力が伸びる 子ども同士の質問のやり取り

英語の教科書素材文に入る前に、使われている英文法を予備学習として学びます。その英文法を使用しムーブノートで英語で質問を考え、コメント機能や拍手機能を使ってクラス全員でやり取りをしました。

BEFORE

英文法の使い方を、教科書に載っている表現だけで覚えてしまう

AFTER

興味を持ちたくさんの事例に当たりながら、**学んだ知識を楽しく運用**できる

そのまま使えるテンプレート!

この事例のカード番号は ※「ファンサイト」でご確認ください。 **24**

STEP 1

教員は、予備学習で学んだ英文法を使ってできる質問を日本語で準備する。

お題の例:『あなたがみんなに聞いてみたい「みんなのおすすめ」を英語で聞いてみよう』

Can I tell you what to like comic?

STEP 2

子どもは各自その文法を使って英語で質問文を作成し、カードに書き広場に提出する。その時、正確さも重要だが「伝わること」や「伝えたいと思う気持ち」を重視したいので、間違いを気にし過ぎないように声をかける。



STEP 3

子どもはコメント欄に答えを英語で記入。解答時に誰かの答えを参照した時は、拍手機能を使う。

STEP 4

最後のまとめの時間で「分かったことを書いてみよう」というお題で子どもがカードを提出し、教員が紹介。

「疑問詞+to+動詞の原形」について分かったことを書きましょう。
how what when
where which who whose などがある。
・三人称単数でも to のあとは原型になる
・which のあとに名詞が来る

富市立 吉原第一中学校 永井知数先生



拍手機能とコメント欄を使った活動で参加意欲がわくだけでなく、ニガテ意識がある子どもでも全員の意見や考えを見て自分に取り入れることができます。ほかのユニットでも文法を入れ替えるだけでよいので授業準備が大変楽です。

詳しくは Web でチェック!



社会 中1



社会 中1 >> いいね!やコメントで『評価し合い』、認め合い、気づきが増える

ムーブノート

1 友だちの気づきから学び合う 身近な地域の歴史調査

知識の暗記ではなく自分とのかかわりを実感できる授業にしたいと考え、事前の興味喚起や実際の遺物調べの場面でムーブノートを活用しました。子どもたちは、材料、形や装飾、出土場所、食など興味のある観点でまとめていました。

BEFORE

見学に行っても見て終わりになりがち

AFTER

人の気づきを知り **自分の気づきを広げることができる**

そのまま使えるテンプレート!

この事例のカード番号は ※「ファンサイト」でご確認ください。 **25**

STEP 1

事前準備として、子どもは遺物について「興味があること」や「予想」をカードに書き、共有し合う。また、自分たちの家の場所と遺跡の場所をスタンプ機能で比較し、身近にあることを実感する。



STEP 2

実際の遺物を目の前に学芸員の話や聞きながら、一番気になったところを写真で撮影し気づきをカードに残す。



STEP 3

次の授業で、広場でクラス全体で共有し合い、他者の気づき・感想を確認する。自分では気づかなかったものに「拍手」をつけたりコメントを書き込む。さらに、広場右にある「深い学びボタン」から「考えが変わった」「発見があった」「納得した」などで投票する。



板橋区立 板橋第三中学校 輪湖みちよ先生



遺物を前に自分なりの視点や言葉が出て、当時地域で過ごしていた人や、遺物を保存している人の気持ちにまで思いが及ぶ生徒もいました。子ども同士で対話が自然に生まれ、自分と歴史や地域とのかかわりを感じながら、歴史的事象を主体的に学ぶ姿が見られました。

他教科での展開 テーマ例

▶ 国語

学んだ古語で質問をし合う。

▶ 道徳

相手をおもんばかって声をかける表現を、シーンごとに考える。

他教科での展開 テーマ例

▶ 音楽

楽器の演奏や合唱での気づきをカードに残す。

▶ 国語

物語文の単元において、注目する登場人物を決めて、場面ごとにその人物と主人公の関係の変化や心情の変化などを捉える。



ムーブノート

2

スタンプ、キーワード集計で『クラス

一人ひとりの意見も確認し、クラス全体の意見としてとらえる統計的な思考や合意形成の作り方、マイノリティについてなど、これからの社会で必要となる要素を学ぶことができます。



カードを作成する



① [私のノート]を開き、中央の[新規カード]をタップする。

② メニューから「スタンプ」を選択しカードを作成する。

③ 画面右上の「ほぞん」ボタンで、[私のノート]画面へ戻る。

「スタンプ」の使い方と集計方法



① 広場左側の「スタンプ」タブをタップする。

1 集計範囲を指定する場合は、[範囲追加]をタップする。

2 画面上をドラッグし、「決定」をタップする。

まとめ・発展・注意点



[まとめ・発展]

あいまいな気持ちを言葉で表現するのは難しいため、ほかの友だちの意見や家族との話し合いなど家庭学習にも発展させると、さらに意見が深まります。

[注意点]

少数派の意見を否定しないような雰囲気づくりのために、なるべく様々な意見がわかるように、子どもが思い浮かばないような視点を変える投げかけをしてください。

ス全体意見を把握』できる

テッパン実践例

活発な意見交流が進む 道徳の二項対立活動

道徳 小6

道徳の授業をしていると、どちらかに決められない気持ちが多々生まれます。スタンプであいまいな気持ちを表現することで、悩みや揺れ動いた気持ちを表現し集計することも可能です。

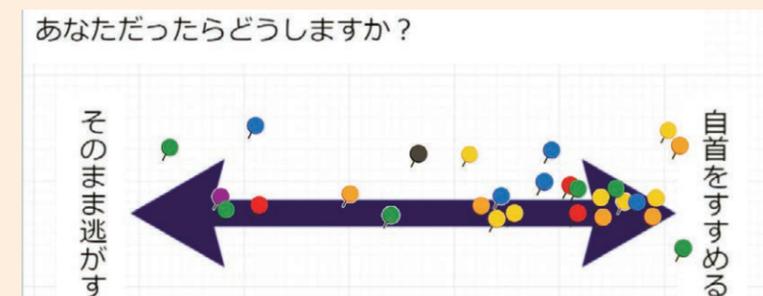
STEP 1

教員は授業で扱うテーマに合わせて、対となる矢印を描いたカードを作成して「授業を開始」を押す。子どもは自分の気持ちや考えをスタンプで表し広場に提出する。



STEP 2

教員はスタンプ集計を行い、クラス全体の意見を可視化。傾向を押さえながら数名に理由を聞く。



STEP 3

グループに分かれ、どのように考えたか意見交流する。ほかの人の話を聞いて感じたことを踏まえ、振り返りを別のカードに書き広場に提出。教員は数名のカードを取り上げ、再度意見交流して気づきをまとめる。



スタンプで簡単に表現できることはもちろん、クラス全体の傾向が一瞬で把握できるため、一人ひとりの理由や考え方を「聞いてみたい」という気持ちが膨らんでいきます。アナログよりもたくさんの立場や視点での意見交流がやすく、気づきが多いと感じます。

詳しくはWebでチェック!



掛川市立第一小学校 加藤大補先生



中学での展開 テーマ例

▶ 英語

英作文でよく使うことのある単語をキーワード集計し参考にする。

▶ 美術

マトリックスで作品の鑑賞をし、比較をする。

他教科での展開 テーマ例

▶ 国語

筆者の気持ちの揺れをスタンプで表し意見交換。

▶ 社会

産業の特徴をマトリックスで考え、スタンプで提示。

▶ 理科

答えだと考えた箇所をスタンプで指し示し、キーワード集計する。

▶ 学活

キーワード集計で、よい発表の条件や観点をつくり出す。



スタンプ、キーワード集計で『クラス全体の意見を把握』できる

国語

小6

ムーブノート

2 伝え合う力が向上する相互評価 座標軸を使った発表

グループ発表では自分たちを客観的に評価することが難しく、聞き手も主体的に聞くことができていませんでした。相互評価がしやすい観点を設定し、座標軸にスタンプを押させることにしました。

BEFORE

子ども同士の評価が難しく
漠然とした評価になりがち

AFTER

座標軸で観点を設定することで
互いの評価と改善点が可視化される

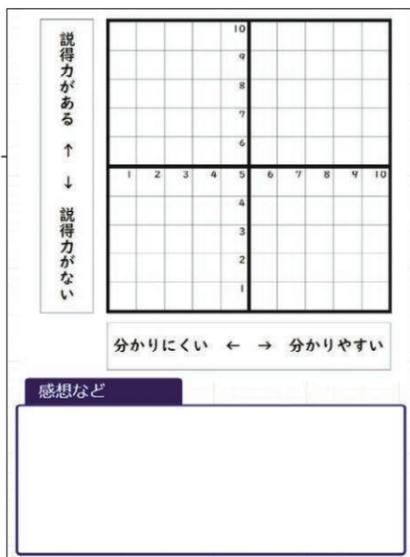
そのまま使える
テンプレート!

この事例の
カード番号は
※「ファンサイト」で
ご確認ください。

27

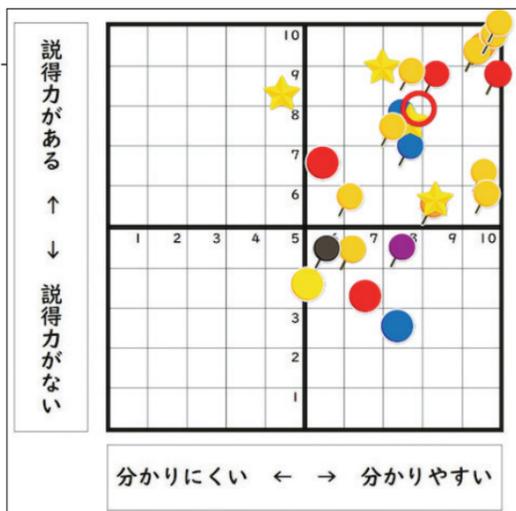
STEP 1

教員は、発表の目的に合わせた観点を縦軸・横軸に設定し、座標軸を作成、画像化しておく。スタンプボタンからカードに画像を
図版として取り込み、コメント記入欄のあるカードを作成し、「授業を開始」を押す。
※ここでは、「説得力があるか」(縦軸)「分かりやすいか」(横軸)の2つ観点を設定。



STEP 2

グループごとの発表を聞き子どもたちがスタンプで評価を入れる。感想やアドバイスの記入ができた
ら提出。教員は子どもたちのスタンプを集計し、クラス全体の印象を可視化する。



STEP 3

子どもたちは自分のグループへのアドバイスとほかのグループが評価されたポイントを確認したうえで
修正点を話し合い、発表資料を改善していく。

新宿区立
柏木小学校
高橋蔵匡先生



発表者はスタンプや集計による客観的な評価により資料の改善点を把握。聞き手も観点を考えながら主体的に発表を聞くので、クラス全体の「伝える力」が向上します。

詳しくは
Webで
チェック!



スタンプ、キーワード集計で『クラス全体の意見を把握』できる

道徳

小6

ムーブノート

2 意見交流で意欲が実践につながる クラス人権宣言の作成

道徳の授業で「世界人権宣言」を学習し、子どもたちの希望により学級活動で「クラス人権宣言」を作成しました。学活でも意見交流を行うことで、道徳の授業だけでは得ることの難しい当事者意識や考える力を養えます。

BEFORE

道徳で実践意欲を持たせることはできるが
主体的に考え行動までつなげることは難しい

AFTER

道徳と学活に連続性を
持たせ自主的な行動に移すことができる

そのまま使える
テンプレート!

この事例の
カード番号は
※「ファンサイト」で
ご確認ください。

28

STEP 1

道徳の授業で、「人権とは」というテーマで子どもがカードに書き広場に提出。集まったものを教員が
キーワード集計でテキスト分析し、クラス全体の考えを共有。



STEP 2

教科書の「世界人権宣言」を読み、子どもが各自のカードに「大切にしたい権利は第何条か」という
テーマで条文と理由を書き、段階的にシート分けした広場に提出。お互いのカードを見合い、コメントを残す。



STEP 3

最後に振り返りとして気づきをカードに書き、シートを変えた「まとめ」の
広場に提出。

振り返り 人権やきまりのよさはなんだろう？
私は、世界人権宣言を読んで、人権やきまりは、人が誰でも平等に幸せに生きる権利だとわかりました。特に、●がついているものは私達の生活にも身近な物が多いから大切にしたいと思いました。なので、学校生活でも、今日学んだことや考えたことを意識してみたいです。

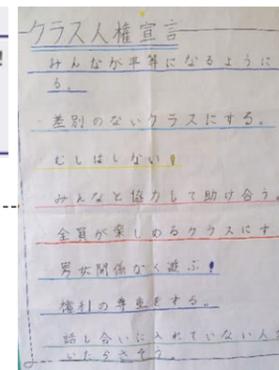
STEP 4

次に学級活動の時間に道徳の授業のまとめを各自の手元で見ながら、「クラス人権宣言」を考え
カードを提出。

クラス人権宣言
話しあいのときに話していない人がいたらさそう!!

STEP 5

担当の子どもが各意見の「いいところ取り」をしながら黒板に書き出し、
クラス全員でまとめ、最終的には8つの「クラス人権宣言」として決定。さらに有志が模造紙にまとめ、
ポスターとして教室内に張り出す。



相模原市立
旭小学校
田屋裕貴先生



道徳の授業での気づきを学活に連携することで、クラス人権宣言の作成につながりました。子どもたちが自主的にポスターを作成するなど、一人ひとりがじっくり考えたからこその積極的なアウトプットにつながりました。

詳しくは
Webで
チェック!



他教科での
展開
テーマ例

理科

各グループでテーマに沿った実験を行い、結果を発表。スタンプを使ってグループごとに評価をし、集計。それぞれの改善点を探る。

美術

製作した作品についての感想をスタンプで集計し、作品の改善につなげる。

他教科での
展開
テーマ例

学活

SDGsの目標から1つ選び、グループごとに自分たちができる活動を考えカードで提出。カードを集計し、クラスで行う活動を全員で話し合い決定。



スタンプ、キーワード集計で『クラス全体の意見を把握』できる

生徒起点で推察が深まる 図形単元の学び合い

基礎で考えた工夫点を活用し、応用に発展させる数学の授業で、発表だけにとどめずクラス全体の着眼点に注目するためキーワード集計を利用しました。

BEFORE

考えや工夫点の共有は発表が課題提出のみで発展しづらい

AFTER

各自の工夫点をキーワード集計で全体を俯瞰しながら活発な意見交流、深い考察につながる

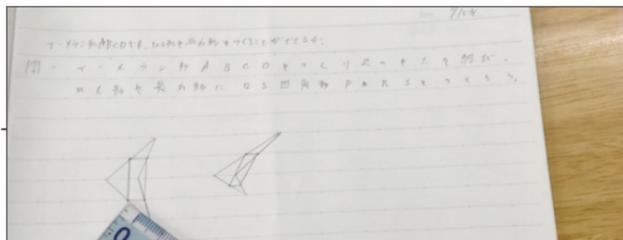
そのまま使える
テンプレート!

この事例の
カード番号は
※「ファンサイト」で
ご確認ください。

29

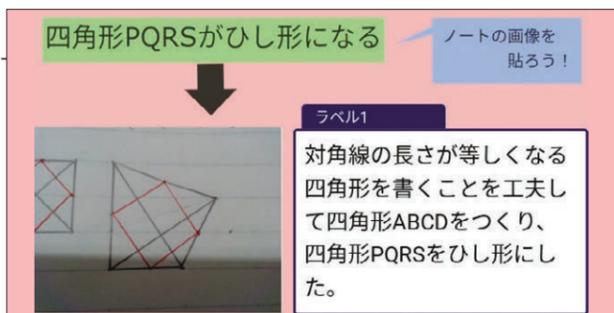
STEP 1

前回の授業で生徒が考えたブーメラン形の四角形の中点を結んでひし形や長方形をつくることのできるかを各自が考え、紙のノートに書き出して、グループで相談したり、つくり方を共有する。



STEP 2

教員は前回提出された工夫点をキーワード集計し、どんな言葉が上がっているのかを共有。「対角線」や「垂直」などの着眼点を示し、子どもはさらに考えを深める。



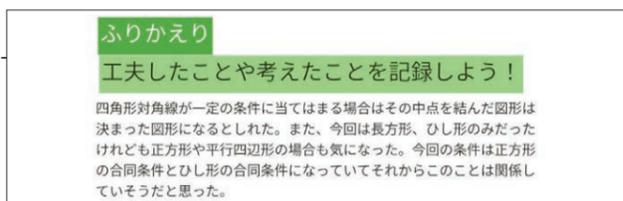
STEP 3

子どもは自分のノートの画像を貼りつけ、つくり方の工夫を記入したカードを提出し、教員が全体共有。



STEP 4

最後に、各自の気づきを振り返りカードに記入して提出。



横須賀市立長沢中学校 藤井亮平先生



子ども自身が工夫した点を洗い出し、考えのヒントとすることで、子ども同士の学び合いが深まるとともに、知識を運用する力にもつながります。

詳しくはWebでチェック!



ドリルパーク

NEW

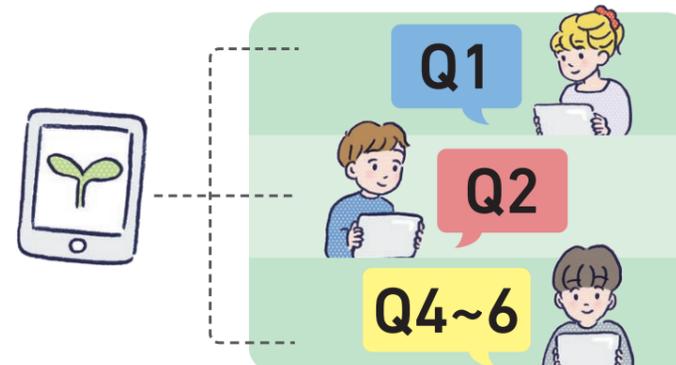
個人の進度に合わせた 最適出題で理解・定着が進む

この春、ドリルパークは大幅リニューアルしました。

先生方のご意見も伺いながら、より個別に、より効率的に子どもたち自身で深い学びを進められる仕様に変更しております。詳しい情報は、「ファンサイト」で随時更新していきます。



リニューアルについての詳細は「ファンサイト」のお知らせをご確認ください



リニューアルしたドリルパーク 3つのポイント

1 理・社・国語の問題増!
AI出題で進度に合った
自主学习に

算数 国語 理科 社会

問題数 約8,000問増!
AIドリル追加!
復習機能追加!

復習機能追加!

2 正答状況に合わせた
個別の復習問題を
自動で選定

「キミ専用おすすめ問題」で個別最適な学習が進む

正答状況がよい子どもには
一歩進んだ
応用問題を出題。

正答があまり出ない子どもには
理解を促進する
基礎問題を出題。

3 課題予約配信など
長期休み宿題の
先生の準備が楽に



実際の活用事例はコチラ

他教科での展開
テーマ例

理科

理科の実験予測について、今まで学習した知識を用いてムーブノートで共有。キーワード検索をして、共通項をヒントにする。



個人の進度に合わせた最適出題で理解・定着が進む

算数

小4

ドリルパーク

自分でやり方を組み立てる 主体性が高まる自由進度学習

ICT活用でグループでの話し合いは活発になりましたが、なんとなくわかった気になってしまい、個の学びとしては格差ができてしまうことがありました。そこで、算数の授業で自由進度学習を実施することにしました。

BEFORE

グループ学習でわかったつもりになり
個々の理解度に差が出がちになる

AFTER

もっと挑戦したいという意欲が伸び
受け身ではない学習に変化する

STEP 1

単元についてのキーワードと教科書・紙ドリルのページ数、ドリルパークの問題番号などを一覧化した「学習進度表」を作成し、配付する。最初の10分で一斉授業をする。



STEP 2

次の25分を自由進度学習に充てる。子どもは「学習進度表」から自分のやりたいものを選び、めあてをオクリンクに書き込んで学習をスタート。自由に席を移動し、友だちと一緒に考えたり教え合ったりする。教員は、めあてと子どもたちの様子を見ながら一人ひとりに声をかけて回る。



STEP 3

最後の10分で各自がその日の学びを振り返り、クラス全体で共有する。

加賀市立
分校小学校
高橋菜見子先生



子どもたちは、「自由進度学習」のことを「自己決定学習」と呼んでいます。その日の授業の流れがわかるので主体的に取り組む子も増え、「自分で選ぶ」からさらに進んで、「自分でやり方を考える」ことにまで発展が見られました。

詳しくは
Webで
チェック!



個人の進度に合わせた最適出題で理解・定着が進む

ベネッセオススメ

ドリルパーク

段階的に出題を個別最適化 演習による振り返り

最後に、ベネッセよりドリルパークのリニューアルした機能を使ったオススメの活用方法をお伝えします。正答状況に合わせた個別の復習問題で、より理解と定着が進みます。

BEFORE

クラス全員で同じ問題だと定着度によって
問題レベルが合わないことがある

AFTER

定着度別に最適な問題が出題され
一人残らず学びを進めることができる

STEP 1

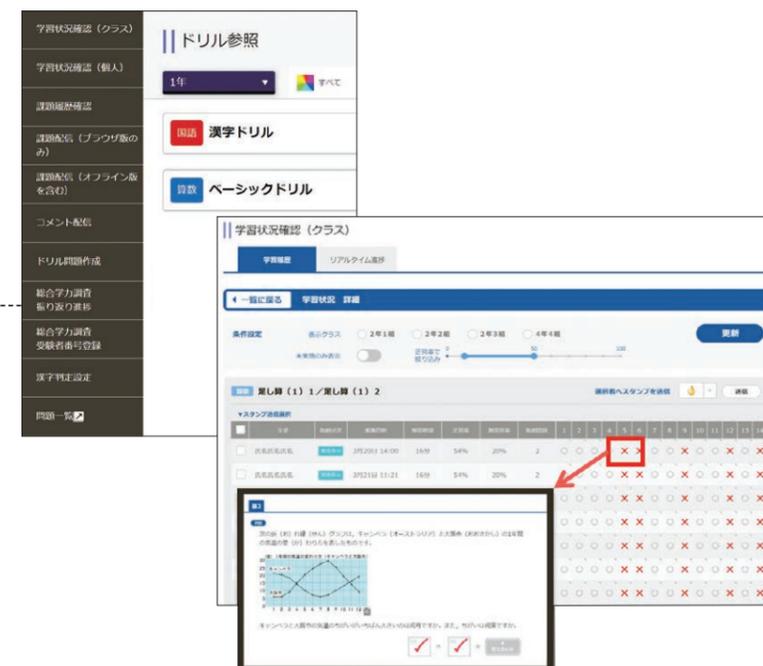
単元の中で一つのテーマが終わるごとに、ドリルパークの該当する問題を解くことを子どもにすすめる。
※宿題として課す、または「時間があったらやっておいて」など。

STEP 2

単元全体が終了したら、ドリルパークの「まとめ」の問題に取り組むように促す。さらに単元テスト前には、「キミ専用おすすめ問題」*に取り組んでおくよう指示する。
*このおすすめ問題は、「まとめ」に取り組むと「押下」できるようになります。

STEP 3

教員は、「パワーアップドリル」問題の「学習状況確認(個人)」で子どもの正答状況を確認。
*「ベーシックドリル」問題の確認も、「学習状況確認(クラス)」で行い、問題ごとに誰が「どのように」間違えたか、まで確認する。



ニガテが散見されたら解きなおしを指示するなど、声かけを行ったり、クラス全体で理解度が不足しているテーマについては、授業内で時間をとって再度取り組みを促したりするなど、その時の状況によって個別最適な学びを進めることができます。

ドリルパーク
の詳しい
使い方は

「ミライシードファンサイト」 ▶ 「アプリの操作」から動画でご確認いただけます!

学習の流れ



学習履歴の
確認



課題配信



ICTを使った授業がスムーズに進む！

タブレット運用

のポイント

タブレットというツールをうまく使いこなしてこそICT授業がうまく導入できます。「タブレットを使う時にすぐに使えること」を意識して環境を整えていただくのがオススメです。

1 取り扱いのルールをしっかり伝え 使うタイミングを見える化

- ✓ 扱い方を子どもにも保護者にも伝え
見えるところに貼っておく。



- ✓ 日課表(時間割)に
マークを付ける

タブレットマークの
ついたマグネットを
用意しておくとう便利！

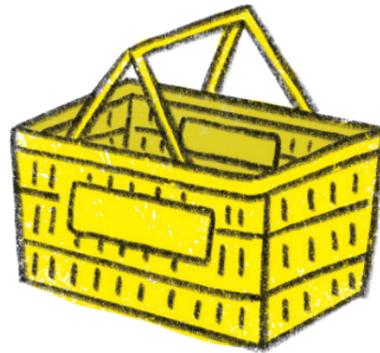
11月8日(火)		
1	算数	～T
2	国語	～
3	理科	～T
4	理科	～
5	体育	～
6	道徳	～T

メリハリを持って
正しく取り扱うことができる！

2 保管場所や 子ども主導で

- ✓ タブレット系の呼びかけで
出し入れや充電をチェックする。

大きいカゴで
まとめて運んでも◎！



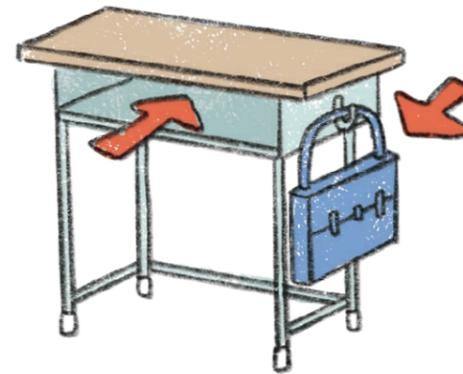
保管庫収納の場合は朝のうち
に保管庫移動&カギOPEN。

教員の指示なしで、

出し入れを できる仕組みにする

- ✓ 保管庫に置いて帰る場合も
持ち帰りの場合も、朝イチで
取り出してログインする。

取り出したタブレットは、
机の中が専用バックにIN！



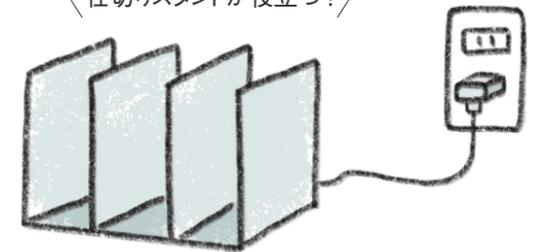
タブレットの不具合も
この時で発見できるようにする。

自己管理ができる！

3 忘れた時や充電不足の時の 対応策を準備しておく

- ✓ 予備アダプターがある
充電スポットをつくる。

仕切りスタンドが役立つ！



- ✓ タブレットを忘れた時の
ルールをつくっておく。

- ・隣席の子と一緒に使う
- ・予備機を使う
- ・タブレットなしで
授業に参加する など



バタバタせずに
時間短縮につながる！

- ✓ 保護者を巻き込んだ
家庭活用指導

タブレットを長期間家庭に持ち帰ってもらう時は、子どもと保護者と一緒に設定をしてもらうなど、オンラインでの学びの方法も理解して協力してもらいます。

相模原市立旭小学校
田屋先生



- ✓ 使用前後の流れを
習慣化する

保管場所を決めておくことが大切です。専用バッグを机の横にかけ、使わない授業ではその中にしまっておく、タブレットを使用する授業が終わったら戻す、などを習慣化しています。

公立小学校
T先生



- ✓ 早め早めの連絡で効率化

朝の会で忘れた人がいないか確認し、予備機の手配などがギリギリにならないように注意しています。休み明けやタブレット使用期間が空いてしまった時などは、特に念入りに保護者にも連絡することを心がけています。

東京都小学校
S先生



- ✓ 代替ツールも想定しておく

故障や充電がなくなってしまったなどでタブレットが使用できない人は、ノートやワークシート、付せんなどを使用して活動に取り組みます。事前に、タブレットがない授業展開も考えておくようにもしています。

新宿区立柏木小学校
高橋先生



- ✓ 教員がフォローし
全体共有

様々な事情でタブレットが使えない子は、紙のノートに課題についての考えなどを書いて写真を撮り、教員が提出BOXへ送ることで、全体共有をします。

茨城町立明光中学校
福住先生



サポートコンテンツのご紹介

「ミライシード」の活用のヒントや、よりよい使い方がわかるサポートサービスを追加料金無料でご用意しております。

※ここに掲載している情報は、2023年3月時点で得られた情報をもとにしています。

スマホ・
タブレット・
パソコン

最新の活用事例やFAQもすべて掲載

「ミライシードファンサイト」

先生のためのミライシード活用支援サイト
全国の先生の実践事例やセミナー情報、アップデート情報等をまとめています

アクセスはこちら!

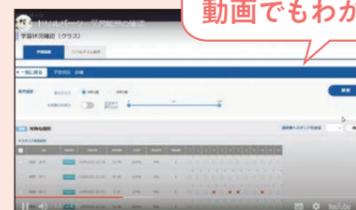
月1回ペースで新機能をリリース!
アップデート情報
ミライシードの主なアップデート情報を掲載

「ファンサイト」へのアクセスはこちら!

ミライシードのポータル画面下部のバナーからもご覧いただけます。

「ミライシード」のすべてがわかるポータルサイトです。Webセミナーの最新情報やよくある質問、基本操作がわかる動画など、活用サポートや先生たちの工夫をご紹介します!

検索しやすく
お困りのことが
即解決!



さらに!

メールマガジンもオススメです!

ウェビナー情報や機能改定情報のお見逃しがなく、メールマガジンを定期配信しています。



アクセスはこちら!

Facebookも更新中!

Facebookをお使いの先生にはオススメです。ぜひご活用ください。



アクセスはこちら!

その場で質問できて詳しくわかる!

オンライン研修 Webセミナー

初めて使われる先生、使い方に不安がある先生向けの操作説明会を毎月開催。不明点をチャットで質問でき、大変ご好評いただいています。また、新しい機能の紹介や実践事例をお伝えするWebセミナーも毎月開催中です。



初心者
研修

「オクリンク」「ムーブノート」などを体験しながら、操作の不安をなくすことができます。

チャットで
個別に対応

アクセスはこちら!



自分から全員
ログインできずに困っています。
ベネッセ中塚から自分に
まず下記のURLにアクセスはできたでしょうか?
できた場合、1年1組1番でパスワードは****
を入力いただけますか?
https://miraiseed.benesse.ne.jp/seed/start/**
To ベネッセ中塚
ありがとうございます! ログインできました!

アーカイブ動画がアップされました!
授業が変わる、子どもが伸びる!
実践者の先生方からリアルな事例が聞ける!
ミライシード
夏の事例大共有会
タップして、
動画を
見る!

Web
セミナー

実践事例や活用
アイデア満載で
す。見逃した方には、
アーカイブも。

100件以上掲載日々更新中

活用事例

全国の先生方が実践され、効果のあったオススメの「ミライシード」活用アイデアを厳選して掲載しています。

教科やアプリで
絞り込める

アクセスはこちら!

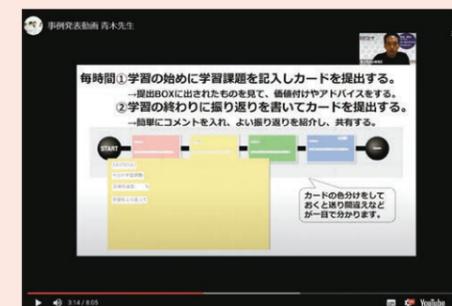


アプリ名や学年・教科でも検索可能!

まなびDXラボ

参加先生募集中!

すでにたくさんの先生方にご参加していただいている先生コミュニティの「まなびDXラボ」。ユーザー会などを実施し、先生同士の実践共有や学び合いが生まれています。全国の先生方とともに、学校教育のDXを探究してきましょう。



勉強会やイベントで、有識者の先生との情報交換も!

コミュニティ専用Slackから、いつでも相談・投稿できる!

